



履修要項

SENZOKU GAKUEN
COLLEGE of MUSIC

履修要項



洗足学園音楽大学

♯	b	♩	♭	♯	b	♩	♭	♯	b
b	♯	♭	♩	b	♯	♭	♩	b	♯
♯	b	♩	♭	♯	b	♩	♭	♯	b
b	♯	♭	♩	b	♯	♭	♩	b	♯
♯	b	♩	♭	♯	b	♩	♭	♯	b
b	♯	♭	♩	b	♯	♭	♩	b	♯
♯	b	♩	♭	♯	b	♩	♭	♯	b
b	♯	♭	♩	b	♯	♭	♩	b	♯

2019年度

履修要項

I 学 籍

II 単 位

III 履修登録

IV 教職課程

V 授 業

VI 試 験

VII 成 績

VIII コード表

IX 資 料

洗足学園音楽大学

目 次

I

学 籍 4

- 1 学 籍 4
- 2 学籍番号 4
- 3 学生証 4
- 4 修業年限と在学期間 4
- 5 学籍の異動とは 5
- 6 休学・復学・退学 5
- 7 除籍・留学・転コース 5

II

単 位 6

- 1 単位とは 6
- 2 卒業の要件 8
- 3 単位の認定 8
- 4 授業科目 10
- 5 科目コードと授業コード 11
- 6 音楽専攻科 46

III

履修登録 55

- 1 履修とは 55
- 2 履修登録の意味 55
- 3 履修登録手続の概要 56
- 4 アカデミック・プロデューサー 57
- 5 アカデミック・アドバイザー 57
- 6 アカデミック・アドバイジングの概要 57
(新入生の場合)
- 7 履修計画上の注意事項 58
- 8 履修登録単位数の上限 59
- 9 履修登録内容の確認 59
- 10 履修登録の訂正・変更 59
- 11 履修登録の取消 59
- 12 実技レッスン科目の履修登録 60
- 13 再履修 63

2019-06-20版

IV

教職課程 64

- 1 本学で取得できる教員免許状 64
- 2 教員免許状取得のための最低修得単位数 64
- 3 教職必修科目一覧 66

V

授 業 73

- 1 授業に臨む態度 73
- 2 授業期間 73
- 3 授業時間 73
- 4 休講・補講 74
- 5 災害発生時・公共交通機関運休時等による臨時休講 74
- 6 出席・欠席 75

VI

試 験 77

- 1 試験の種類 77
- 2 受験資格 77
- 3 定期試験 77
- 4 追試験 77
- 5 再試験 77
- 6 筆記試験受験上の注意 78
- 7 レポート・論文提出上の注意 78
- 8 実技試験受験上の注意 78
- 9 災害発生時および交通ストライキ時の取扱 78

VII

成 績 79

- 1 成績の評価基準 79
- 2 GPA 80
- 3 成績の確認 80
- 4 成績問合せ 81

VIII

コード表 82

IX

資 料 84

I

学籍

I-1

学籍

学籍とは、あなたが本学の学生であることを正式に登録していることを証明する記録です。本学に入学を許された者は所定の手続に従って学籍簿に必要事項を記入し、提出しなければなりません。

学生は学籍を取得した後に、授業を履修したり、試験を受けたりすることができるようになります。

I-2

学籍番号

あなたが学籍を取得すると、学籍番号が付与されます。学籍番号は、あなただけの唯一の番号で、在学中は勿論のこと、将来本学を卒業した後にもあなたの存在を証明する大切な番号になります。

校内では、試験の解答用紙・各種届出用紙など、毎日のように学籍番号を記入したり、申告したりすることが求められますので、必ず覚えておいて下さい。

I-3

学生証

学生証は、あなたが本学の学生であることを証明する身分証明書です。学生証は入学時に交付され、有効期限は 4 年間です。学生証は、次のような場合に呈示を求められますので、必要事項を記載して常時携帯し、大切に取り扱いましょう。

- 1) 本学の教職員から請求があった場合
- 2) 各種証明書の交付を受ける場合
- 3) 授業・レッスンを受ける場合
- 4) 試験を受ける場合
- 5) 図書館の資料を利用する場合
- 6) 練習室を利用する場合
- 7) 通学定期等を購入する場合、または、学割を利用する場合
- 8) 機材・楽器室を利用する場合

I-4

修業年限と在学期間

修業年限とは、大学の課程を修了して卒業するために必要な期間のことです。本学では、学則により、修業年限を 4 年と定めています。

在学期間は、あなたが本学の学生として大学に在籍する期間のことで、学則では、在学期間は休学期間を除いて通算して 8 年を超えることはできないと定めています。

I-5

学籍の異動とは

学籍の異動とは、あなたの学生としての修学上の地位を変更することです。例えば、大学を休学する場合、休学から復学する場合、退学する場合などがこれに当たります。

学生は学籍の異動を希望する場合は、所定の手続に従って、大学の許可を得なければなりません。

また、住所・電話番号の変更などに際しても学籍簿の記載を変更する必要がありますので、速やかに学務部へ届け出てください。

I-6

休学・復学・退学

- (1) 休学：学生が病気その他やむを得ない理由により、2ヶ月以上修学ができない場合、医師の診断書または理由書を添えて、保証人と連署の上で願い出れば、学長の許可を得て休学することができます。休学期間は原則として1年以内ですが、許可を得ればさらに1年以内に限り、延長することができます。なお、休学期間は在学期間に算入されません。
- (2) 復学：休学の理由が解消されたときは、学長の許可を得て、復学することが可能です。この場合、復学願を提出することが必要です。
- (3) 退学：事情により退学を希望する学生は、所定の退学願に理由書を添えて、保証人と連署の上で提出し、学長の許可を得なければなりません。この場合、願い出た日を含む学期の学納金を納入していなければなりません。

I-7

除籍・留学・転コース

- (1) 除籍：学生が次のいずれかに該当する場合、除籍されることがあります。
 - ① 所定の在学期間を超えた者
 - ② 2年間の休学期間を経過し、なお復学の見込みのない者
 - ③ 学納金を滞納し、督促をうけても納入しない者
 - ④ 行方不明となってから2年を経過した者
- (2) 留学：外国の大学または短期大学に留学しようとする場合、理由書を添えて、保証人と連署の上で願い出、学長の許可を受けなければなりません。許可を得て留学する場合、留学期間を在学期間に含めることができます。
- (3) 転コース：他のコースに転コースを希望するものについては、選考の上で許可することがあります。転コースした場合、元のコースの在学期間の全部または一部を新しいコースの在学期間に含めることができます。
- (4) 転楽器：同一のコース内で転楽器を希望するものについては、選考の上で許可することがあります。転楽器した場合、元の楽器の在学期間の全部または一部を新しい楽器の在学期間に含めることができます。

I

- (1) 大学では、予め定められた基準に従って授業科目を履修し、試験に合格すると、その授業科目について単位が与えられます。卒業要件を満たすためには、所定の単位を修得しなければなりません。

(2) 単位の計算

授業科目の単位数は、学修時間数に応じて計算されます。学修時間数には教室の授業時間だけでなく、授業のための自習時間も含まれます。例えば、講義科目の場合は、45 時間の学修で 1 単位となりますが、これは 15 時間の授業と 30 時間の自習を前提としています。

主な授業科目の単位は以下の通り計算されます。なお、時間割上の 1 時限は 90 分ですが、計算上は 2 時間として計算されます。

①講義科目：原則として、15 時間の授業で 1 単位となります。講義科目は通常 1 時限が 2 時間ですから、半期 15 週の授業で 2 単位を修得することになります。

②演習科目：原則として、30 時間の授業で 1 単位となります。通常、半期で 15 週 30 時間ですから、1 単位となります。

③実習と実技科目：原則として、30 時間の授業で 1 単位となります。通常、半期で 15 週 30 時間ですから、1 単位となります。

④音楽の実技科目：音楽の実技科目については、芸術等の分野における個人指導による実技の授業として、大学が定める授業時間により単位が算定されます。具体的には、次頁の通りの単位が与えられます。

専門実技については、1 年間 30 週の授業で 6 単位が与えられ、副科実技については 1 年間 30 週の授業で 2 単位、または、半年間 15 週の授業で 1 単位が与えられます。

⑤卒業論文、卒業研究及び卒業制作等は各 4 単位が与えられます。

レッスン科目

学部	コース	専門実技	左記に対応する科目	副科実技	左記に対応する科目
音楽学部 音楽学科	作曲	30分 30分	作曲技法研究Ⅰ～Ⅳ 作曲理論研究Ⅰ～Ⅳ	音楽実技実習30分	音楽実技実習1～4
	音楽・音響デザイン	50分	創作技法研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
		90分	創作技法共同研究Ⅰ～Ⅳ		
	ピアノ	50分	ピアノ奏法研究Ⅰ～Ⅳ	チェンバロ実習50分 副科実技20分	チェンバロ実習1・2 副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	管 楽 器	50分	管楽器奏法研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	弦 楽 器	50分	弦楽器奏法研究Ⅰ～Ⅳ	ヴィオラ実習20分 副科実技20分	ヴィオラ実習1-1～4-2 副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	打 楽 器	50分	打楽器奏法研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	電子オルガン	50分	電子オルガン奏法研究Ⅰ～Ⅳ	ピアノ実技20分 副科実技20分	ピアノ実技1～4 副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	ジャズ	50分	ジャズ奏法研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2 ジャズ特別奏法研究1～4-2
	現代邦楽	50分	邦楽器奏法研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	ロック&ポップス	50分	R&P演奏技法研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2 副科実技(R&P)1～4-2
	声 楽	50分	声楽研究Ⅰ～Ⅳ	ピアノ実技20分 副科実技20分	ピアノ実技 副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	ミュージカル	90分 90分	シーンスタディⅠ～Ⅳ MSアンサンブル実習Ⅰ～Ⅳ	ヴォイストレーニング40分	ヴォイストレーニング1～4
	バレエ	90分	バレエ研究Ⅰ～Ⅳ		
	声優アニメソング	30分	ヴォイスアーティスト技法研究1～4		
	ダンス	90分	舞踊研究Ⅰ～Ⅳ		
	ワールドミュージック	50分	ワールドミュージック専門研究Ⅰ～Ⅳ	副科実技20分	副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	音楽教育			ピアノ実習30分 声楽実習30分 音楽実技実習30分 副科実技20分	ピアノ実習 声楽実習 音楽実技実習2～4 副科実技(グループ)1～4-2 副科実技(個人)1～4-2
	音楽環境創造	80分	音楽環境創造研究Ⅰ～Ⅳ		

〈注〉・副科実技

1.副科実技は専門実技と異なる楽器とします。

2.副科実技(器楽-グループ)は、90分のグループレッスンです。

・ワールドミュージック専門研究においては、単専攻(50分のレッスン)と複専攻(2つの異なる専攻カテゴリー各30分のレッスン)いずれかを選択することができます。

2019-06-20版

6

7

Ⅱ

2

卒業の要件

本学の課程を修了し卒業するためには、所定の修業年限（通常 4 年間）を在学して、下表に定められた通り、合計で 124 単位以上修得しなければなりません。

学 部	コース	必修科目	選択科目	合 計
音楽学部 音楽学科	作 曲	24単位	100単位以上	124単位以上
	音楽・音響デザイン	24単位	100単位以上	
	ピアノ	24単位	100単位以上	
	管 楽 器	24単位	100単位以上	
	弦 楽 器	24単位	100単位以上	
	打 楽 器	24単位	100単位以上	
	電子オルガン	24単位	100単位以上	
	ジャズ	24単位	100単位以上	
	現代邦楽	24単位	100単位以上	
	ロック＆ポップス	24単位	100単位以上	
	声 楽	24単位	100単位以上	
	ミュージカル	24単位	100単位以上	
	バレエ	24単位	100単位以上	
	声優アニメソング	24単位*	100単位以上	
	ダンス	24単位	100単位以上	
	ワールドミュージック	24単位	100単位以上	
	音楽教育	36単位**	88単位以上	
	音楽環境創造	24単位*	100単位以上	

*必修科目の単位数が24単位を超える場合は、超えた単位数を選択科目で修得した単位数とみなす。
 **必修科目の単位数が36単位を超える場合は、超えた単位数を選択科目で修得した単位数とみなす。

Ⅱ

3

単位の認定

(1) 入学前の既修得単位の認定【編入学者を除く】

他の大学または短期大学（外国の大学または短期大学を含む）を卒業または中途退学して、あらたに本学に入学した学生については、他大学・短期大学での既修得単位のうち、60 単位を超えない範囲で、本学で履修した単位として認定を受けることができます。この場合、所定の手続きによる申請が必要です。

(2) 入学前の既修得単位の認定【編入学者対象】

他の大学または短期大学（外国の大学または短期大学を含む）を卒業または中途退学して、本学に3 年次編入した学生については、他大学・短期大学での既修得単位のうち、70 単位を超えない範囲で、本学で履修した単位として認定を受けることができます。この場合、所定の手続きによる申請が必要です。

(3) 単位互換制度により修得した単位の認定（放送大学において修得した単位の認定）

単位互換に関する協定書及び覚書に基づき、本学の指定した科目（下表）について放送大学の「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、本学において修得した卒業に必要な単位とみなすことができます。なお、この単位は、履修登録上限単位数の中に含まれます。

履修希望者は通常の履修登録手続きを行ってください。

（制度利用にあたっての注意事項）

- 入学した学期及び卒業予定学期は履修できません。
- 本学に納入する授業料とは別に、放送大学での授業料（1 科目：11,000 円）が必要です。
- 放送大学への手続の詳細につきましては、別途連絡します。

科目コード	科目名	単位	科目コード	科目名	単位
GK9004	日本文学における古典と近代	2	GK9062	西洋哲学の起源	2
GK9005	日本語リテラシー	2	GK9063	歴史と人間	2
GK9006	日本語アカデミックライティング	2	GK9064	日本の近現代	2
GK9007	『古事記』と『万葉集』	2	GK9066	世界文学への招待	2
GK9008	日本文学の名作を読む	2	GK9068	ラテン語の世界	2
GK9013	心理学概論	2	GK9069	新しい言語学	2
GK9015	心理と教育へのいざない	2	GK9070	現代人文地理学	2
GK9021	初歩からの数学	2	GK9071	総合人類学としてのヒト学	2
GK9022	初歩からの化学	2	GK9072	西洋芸術の歴史と理論	2
GK9023	初歩からの生物学	2	GK9073	日本美術史の近代とその外部	2
GK9024	情報ネットワーク	2	GK9074	舞台芸術の魅力	2
GK9025	初歩からの物理	2	GK9075	コミュニケーション学入門	2
GK9026	初歩からの宇宙の科学	2	GK9081	市民自治の知識と実践	2
GK9027	情報学へのとびら	2	GK9082	社会学入門	2
GK9028	情報・メディアと法	2	GK9083	政治学へのいざない	2
GK9029	はじめての気象学	2	GK9084	グローバル化と私たちの社会	2
GK9032	疾病の成立と回復促進	2	GK9085	国際理解のために	2
GK9033	公衆衛生	2	GK9087	世界の中の日本	2
GK9034	疾病の回復を促進する薬	2	GK9088	途上国を考える	2
GK9035	運動と健康	2	GK9089	多様なキャリアを考える	2
GK9036	睡眠と健康	2	GK9090	情報化社会と国際ボランティア	2
GK9037	食と健康	2	GK9091	生活経済学	2
GK9038	健康と社会	2	GK9092	生活における地理空間情報の活用	2
GK9039	今日のメンタルヘルス	2	GK9095	リスクコミュニケーションの現在	2
GK9047	初歩のスペイン語	2	GK9096	障害を知り共生社会を生きる	2
GK9048	中国語Ⅰ	2	GK9097	人間にとって貧困とは何か	2
GK9049	中国語Ⅱ	2	GK9098	健康への力の探究	2
GK9051	韓国語Ⅰ	2	GK9101	問題解決の進め方	2
GK9052	韓国語Ⅱ	2	GK9102	身近な統計	2
GK9053	英語事始め	2	GK9103	自然科学はじめての一步	2
GK9054	耳から学ぶ英語	2	GK9104	環境問題のとりえ方と解決方法	2
GK9055	英語で描いた日本	2	GK9105	生物環境の科学	2
GK9057	Walking with Writers	2	GK9106	ダイナミックな地球	2
GK9058	教養で読む英語	2	GK9107	人体の構造と機能	2
GK9061	哲学・思想を今考える	2			

〈注〉授業科目の内容等に関しましては、放送大学ホームページ(<http://www.ouj.ac.jp>)学部／授業科目案内、または学務部で確認してください。

〈注〉科目名は年度により変わる可能性があります。
 年度による科目名の対応については別途掲示により確認してください。

- (4) 他の大学等における学修により修得した単位の認定
本学在学中に、他の大学等で修得した単位等で、所定の条件を満たしたものは、60単位を超えない範囲で、本学で履修した単位として認定を受けることができます。この場合、所定の手続きによる申請が必要です。
- (5) 転コース
本学の他のコースに変更を許可された学生については、元のコースで修得した単位の一部または全部を変更後のコースの単位として認定を受けることができます。この場合、所定の手続きによる申請が必要です。

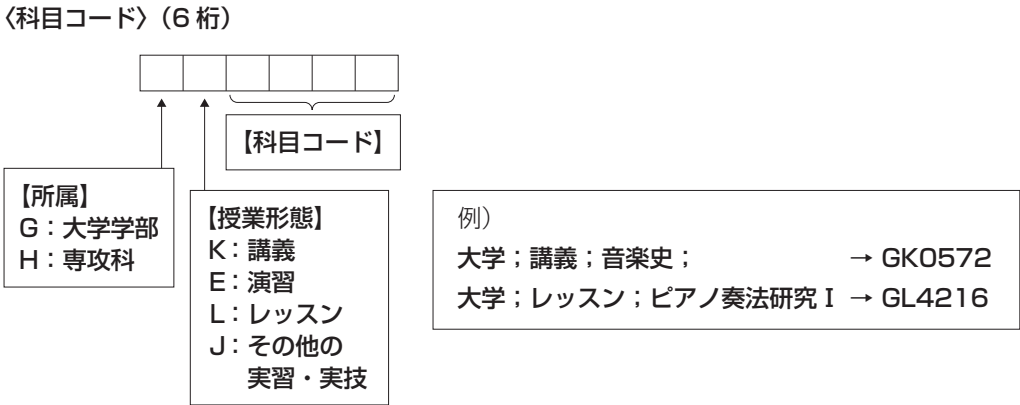
II-4 授業科目

- 授業科目には、専門必修科目、専門選択科目（各コース）、専門選択科目（全コース共通）、一般総合科目および教職に関する科目があります。
- (1) 専門必修科目：各コースの必修科目で、学生は必ず履修し、単位を修得しなければなりません。コースの専門分野に関する最も根本的な知識や技能を身に付ける科目です。1科目でも未修得の科目がある場合は、卒業の認定を受けることができません。
- (2) 専門選択科目（各コース）：各コースに所属する学生だけが履修できる選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位として認められます。コースの専門分野に関する応用的な知識や技能を身に付ける科目です。
- (3) 専門選択科目（全コース共通）：全学生が履修できる選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位として認められます。コースの枠を超えた横断的・多角的な学びにより音楽的素養を身に付け、その音楽的幅を広げる科目です。
- (4) 一般総合科目：全学生が履修できる選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位として認められます。豊かな人間性と実行力を備え自立した社会人として求められる汎用的能力を身に付ける科目です。
- (5) 教職に関する科目：教職課程を修了するために必須となる科目です。これらの科目は、音楽教育コースの学生を除き、原則として、卒業に必要な単位には含まれません。

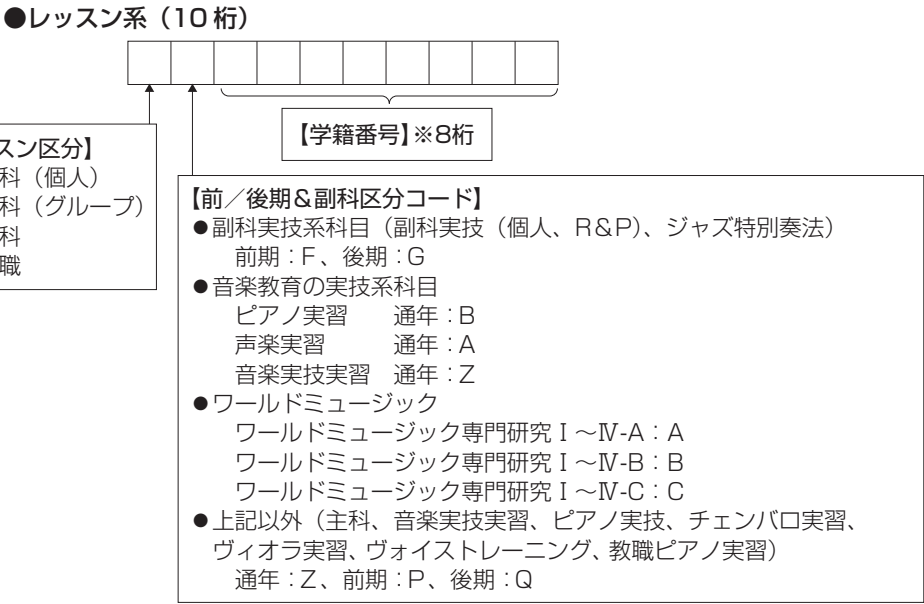
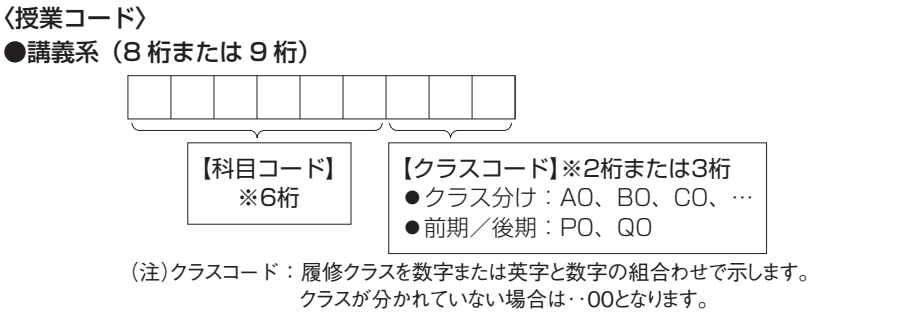
授業科目については、次頁以降をご覧ください。また、各表に記載された授業科目の中には、授業年度によって開講されない科目や授業名が変更される科目もあります。

II-5 科目コードと授業コード

授業科目には、6桁の「科目コード」があります。



一方、授業科目の履修登録を行なう場合は、8桁の「授業コード」を使用します。授業コードは、次のような構成となっています。



授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 作曲コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL0405	作曲技法研究Ⅰ	3				通年	
GL0406	作曲技法研究Ⅱ		3			通年	
GL0407	作曲技法研究Ⅲ			3		通年	
GL0408	作曲技法研究Ⅳ				3	通年	
GL0416	作曲理論研究Ⅰ	3				通年	
GL0417	作曲理論研究Ⅱ		3			通年	
GL0418	作曲理論研究Ⅲ			3		通年	
GL0419	作曲理論研究Ⅳ				3	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE1116	浄書と音源の制作	4				通年	
GK0571	管弦楽概論		4			通年	
GK1111	管弦楽法			4		通年	
GK1138	楽曲分析研究Ⅰ			2		半期	
GK1139	楽曲分析研究Ⅱ			2		半期	
GL1146	音楽実技実習1	2				通年	
GL1147	音楽実技実習2		2			通年	
GL1148	音楽実技実習3			2		通年	
GL1149	音楽実技実習4				2	通年	
GE1168	歌曲作曲研究Ⅰ	2				半期	
GE1169	歌曲作曲研究Ⅱ	2				半期	
GE1179	合唱曲作曲研究		2			半期	
GE1180	音階研究		2			半期	
GE1189	20世紀の和声法研究			2		半期	
GE1190	20世紀の奏法研究			2		半期	
GE1193	20世紀の作曲技法Ⅰ			2		半期	
GE1194	20世紀の作曲技法Ⅱ			2		半期	
GK7581	ジャズハーモニー1	2				半期	
GK7582	ジャズハーモニー2	2				半期	
GK7583	ジャズハーモニー3		2			半期	
GK7584	ジャズハーモニー4		2			半期	
GK5935	ジャズハーモニー5			2		半期	
GK5936	ジャズハーモニー6			2		半期	
GE1225	DAW演習Ⅰ	2				通年	
GE1259	音楽プログラミング入門	4				通年	
GE1235	Max/MSP演習		2			通年	
GE1236	コンピュータ音楽表現		2			通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 音楽・音響デザインコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL0501	創作技法研究Ⅰ	〔6〕				通年	作編曲・録音実技を履修する場合
GL0505	創作技法共同研究Ⅰ	〔6〕				通年	音響実技を履修する場合
GL0502	創作技法研究Ⅱ		〔6〕			通年	作編曲・録音実技を履修する場合
GL0506	創作技法共同研究Ⅱ		〔6〕			通年	音響実技を履修する場合
GL0503	創作技法研究Ⅲ			〔6〕		通年	作編曲・録音実技を履修する場合
GL0507	創作技法共同研究Ⅲ			〔6〕		通年	音響実技を履修する場合
GL0504	創作技法研究Ⅳ				〔6〕	通年	作編曲・録音実技を履修する場合
GL0508	創作技法共同研究Ⅳ				〔6〕	通年	音響実技を履修する場合
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL0541	アドバンスト・サポート・レッスン1	4				通年	
GL0542	アドバンスト・サポート・レッスン2		4			通年	
GL0543	アドバンスト・サポート・レッスン3			4		通年	
GL0544	アドバンスト・サポート・レッスン4				4	通年	
GK7581	ジャズハーモニー1	2				半期	
GK7582	ジャズハーモニー2	2				半期	
GK7583	ジャズハーモニー3		2			半期	
GK7584	ジャズハーモニー4		2			半期	
GK1237	ポピュラーミュージック・ハーモニーⅠ		2			半期	
GK1238	ポピュラーミュージック・ハーモニーⅡ		2			半期	
GK1218	アドバンスト・ハーモニー			4		通年	
GK1219	コンテンポラリー・ハーモニー				4	通年	
GE1225	DAW演習Ⅰ	2				通年	
GE1256	DAW演習ⅡA		2			通年	
GE1257	DAW演習ⅡB		2			通年	
GE1258	DAW演習ⅡC		2			通年	
GE1227	ProTools 演習		2			通年	
GE1228	リズムセクション・ライティング	4				通年	
GE1243	アドバンスト・アレンジテクニクA		4			通年	
GE1244	アドバンスト・アレンジテクニクB		4			通年	
GE1259	音楽プログラミング入門	4				通年	
GE1233	オーケストラ・ライティング			4		通年	
GE1234	WEBデザイン実習	2				通年	
GE1235	Max/MSP演習		2			通年	
GE1236	コンピュータ音楽表現		2			通年	
GE5381	スタジオレコーディング演習1	2				通年	
GE5382	スタジオレコーディング演習2		2			通年	
GE5383	スタジオレコーディング演習3			2		通年	
GE5384	スタジオレコーディング演習4				2	通年	
GK5385	サウンドエンジニアリング基礎理論	4				通年	
GK5386	サウンドエンジニアリング応用理論		4			通年	
GK5391	音響空間エレクトロニクス1	4				通年	
GK5392	音響空間エレクトロニクス2		4			通年	
GK5393	音響空間エレクトロニクス3			4		通年	
GK5394	音響空間エレクトロニクス4				4	通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 音楽・音響デザインコース

(2) 専門選択科目 (各コース) 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GJ1246	プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション 1	1				集中	
GJ1247	プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション 2		1			集中	
GJ1248	プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション 3			1		集中	
GJ1249	プロフェッショナル・ミュージック・プロダクション 4				1	集中	
GE5361	録音技術研究 1	2				通年	
GE5362	録音技術研究 2		2			通年	
GE5363	録音技術研究 3			2		通年	
GE5364	録音技術研究 4				2	通年	
GE5365	メディアコンテンツ制作実習 1	2				通年	
GE5366	メディアコンテンツ制作実習 2		2			通年	
GE5367	メディアコンテンツ制作実習 3			2		通年	
GE5368	メディアコンテンツ制作実習 4				2	通年	
GK1111	管弦楽法			4		通年	音楽・音響デザインコースは 3・4 年で履修可
GK5387	映画音楽作曲技法		4			通年	
GE1252	テクノパフォーマンス研究 2		2			通年	
GE1253	テクノパフォーマンス研究 3			2		通年	
GE1254	テクノパフォーマンス研究 4				2	通年	
GE5399	ワイヤリング研究		2			半期	
GK5390	スタジオエレクトロニクス			4		通年	
GK7560	R&P・ヒストリー	4				通年	
GK1255	アニメーション・ミュージック研究				2	半期	
GE1239	作編曲入門	2				半期	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ ピアノコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL4216	ピアノ奏法研究 I	6				通年	
GL4217	ピアノ奏法研究 II		6			通年	
GL4218	ピアノ奏法研究 III			6		通年	
GL4219	ピアノ奏法研究 IV				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE1376	器楽曲伴奏法 I - 1	1				半期	
GE1377	器楽曲伴奏法 I - 2	1				半期	
GE1378	器楽曲伴奏法 II - 1		1			半期	
GE1379	器楽曲伴奏法 II - 2		1			半期	
GE1382	歌曲伴奏法 I	1				半期	
GE1383	歌曲伴奏法 II	1				半期	
GE1401	二重奏 I	2				通年	
GE1402	二重奏 II		2			通年	
GE1416	初見視奏 I	1				半期	
GE1417	初見視奏 II	1				半期	
GE1418	初見視奏 III		1			半期	
GE1419	初見視奏 IV		1			半期	
GK1441	ピアノ音楽講座	4				通年	
GE1455	音楽教室グレード対策講座 I		4			通年	
GE1456	音楽教室グレード対策講座 II			4		通年	
GE1457	ピアノ指導法 I		2			通年	
GE1458	ピアノ指導法 II			2		通年	
GL1471	チェンバロ実習 1			2		通年	
GL1472	チェンバロ実習 2				2	通年	
GK1491	ピアノ音楽鑑賞研究	4				通年	
GJ1494	リズムパフォーマンス	4				通年	
GE3402	室内楽研究 2		2			通年	
GE3403	室内楽研究 3			2		通年	
GE3404	室内楽研究 4				2	通年	
GE1495	管弦楽内ピアノ奏法研究 1	2				通年	
GE1496	管弦楽内ピアノ奏法研究 2		2			通年	
GE1497	管弦楽内ピアノ奏法研究 3			2		通年	
GE1498	管弦楽内ピアノ奏法研究 4				2	通年	
GE3415	ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ) 2		2			集中	
GE3416	ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ) 3			2		集中	
GE3417	ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ) 4				2	集中	
GE5140	ピアノ作曲基礎演習 1	2				通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5141	ピアノ作曲基礎演習 2		2			通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5142	ピアノ作曲基礎演習 3			2		通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5143	ピアノ作曲基礎演習 4				2	通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5144	キーボードレアリゼーション 1	2				通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5145	キーボードレアリゼーション 2		2			通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5146	キーボードレアリゼーション 3			2		通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5147	キーボードレアリゼーション 4				2	通年	PF(P-Com及びPPP)のみ
GE5148	ピアノ作品分析演奏法 1	2				通年	
GE5149	ピアノ作品分析演奏法 2		2			通年	
GE5150	ピアノ作品分析演奏法 3			2		通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ピアノコース

(2) 専門選択科目（各コース） 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE5151	ピアノ作品分析演奏法 4				2	通年	
GL4201	作曲基礎研究 1	4				通年	PF(PーCom)のみ 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GL4202	作曲基礎研究 2		4			通年	PF(PーCom)のみ 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GL4203	作曲基礎研究 3			4		通年	PF(PーCom)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GL4204	作曲基礎研究 4				4	通年	PF(PーCom)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GE1116	浄書と音源の制作	4				通年	PF(PーCom)のみ
GL4205	指導法研究 1ーⅠ			2		半期	PF(ピアノ指導者養成クラス)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人) 3ー1・3ー2・ 4ー1・4ー2 と同時履修不可
GL4206	指導法研究 1ーⅡ			2		半期	
GL4207	指導法研究 2ーⅠ				2	半期	
GL4208	指導法研究 2ーⅡ				2	半期	
GL4226	ポピュラーミュージック研究 1ーⅠ			2		半期	PF(アドバンス・ポピュラー・スタディ・クラス)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人) 3ー1・3ー2・ 4ー1・4ー2 と同時履修不可
GL4227	ポピュラーミュージック研究 1ーⅡ			2		半期	
GL4228	ポピュラーミュージック研究 2ーⅠ				2	半期	
GL4229	ポピュラーミュージック研究 2ーⅡ				2	半期	
GL4273	アンサンブル奏法研究 1ーⅠ			2		半期	PF(アンサンブル・スタディ・クラス)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人) 3ー1・3ー2・ 4ー1・4ー2 と同時履修不可
GL4274	アンサンブル奏法研究 1ーⅡ			2		半期	
GL4275	アンサンブル奏法研究 2ーⅠ				2	半期	
GL4276	アンサンブル奏法研究 2ーⅡ				2	半期	
GL4277	ピアノ奏法特殊研究 1	4				通年	PF(ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンス クラス)のみ 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GL4278	ピアノ奏法特殊研究 2		4			通年	PF(ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンス クラス)のみ 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GL4279	ピアノ奏法特殊研究 3			4		通年	PF(ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンス クラス)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GL4280	ピアノ奏法特殊研究 4				4	通年	PF(ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンス クラス)のみ チェンバロ実習と同時履修不可 副科実技(グループ・個人)と同時履修不可
GK5152	応用キーボードソルフェージュ	4				通年	
GK5153	コミュニケーション&セルフマネジメント・スタディ	4				通年	
GK5154	身体向上メソッド	4				通年	
GE1168	歌曲作曲研究Ⅰ	2				半期	PF(PーCom)のみ
GE1169	歌曲作曲研究Ⅱ	2				半期	PF(PーCom)のみ
GE1179	合唱曲作曲研究		2			半期	PF(PーCom)のみ
GE1180	音階研究		2			半期	PF(PーCom)のみ
GE1189	20世紀の和声法研究			2		半期	PF(PーCom)のみ
GE1190	20世紀の奏法研究			2		半期	PF(PーCom)のみ
GE1193	20世紀の作曲技法Ⅰ			2		半期	PF(PーCom)のみ
GE1194	20世紀の作曲技法Ⅱ			2		半期	PF(PーCom)のみ
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■管楽器コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL0601	管楽器奏法研究Ⅰ	6				通年	
GL0602	管楽器奏法研究Ⅱ		6			通年	
GL0603	管楽器奏法研究Ⅲ			6		通年	
GL0604	管楽器奏法研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目（各コース）

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE1631	サクソオーケストラ 1	4				通年	
GE1632	サクソオーケストラ 2		4			通年	
GE1633	サクソオーケストラ 3			4		通年	
GE1624	サクソオーケストラ 4				4	通年	
GE1637	フルートオーケストラ 1	4				通年	
GE1638	フルートオーケストラ 2		4			通年	
GE1639	フルートオーケストラ 3			4		通年	
GE1614	フルートオーケストラ 4				4	通年	
GE1640	ブリティッシュブラス 1	4				通年	
GE1641	ブリティッシュブラス 2		4			通年	
GE1642	ブリティッシュブラス 3			4		通年	
GE1643	ブリティッシュブラス 4				4	通年	
GE3201	吹奏楽研究 1	4				通年	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GE3202	吹奏楽研究 2		4			通年	
GE3203	吹奏楽研究 3			4		通年	
GE3204	吹奏楽研究 4				4	通年	
GE3211	オーケストラ研究 1ー1	4				通年	
GE3212	オーケストラ研究 1ー2		4			通年	
GE3213	オーケストラ研究 1ー3			4		通年	
GE3214	オーケストラ研究 1ー4				4	通年	
GE3215	オーケストラ研究 2ー1	4				通年	
GE3216	オーケストラ研究 2ー2		4			通年	
GE3217	オーケストラ研究 2ー3			4		通年	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GE3218	オーケストラ研究 2ー4				4	通年	
GE3315	ファンファーレオルケスト 1	4				通年	
GE3316	ファンファーレオルケスト 2		4			通年	
GE3317	ファンファーレオルケスト 3			4		通年	
GE3318	ファンファーレオルケスト 4				4	通年	
GE3401	室内楽研究 1	2				通年	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GE3402	室内楽研究 2		2			通年	
GE3403	室内楽研究 3			2		通年	
GE3404	室内楽研究 4				2	通年	吹奏楽指導者マスタークラスのみ
GE3171	吹奏楽指導法 1	4				通年	
GE3172	吹奏楽指導法 2		4			通年	
GE3173	吹奏楽指導法 3			4		通年	
GE3174	吹奏楽指導法 4				4	通年	
GE3175	マーチングディレクター概論 1	4				通年	
GE3176	マーチングディレクター概論 2		4			通年	
GE3177	マーチングディレクター概論 3			4		通年	
GE3178	マーチングディレクター概論 4				4	通年	
GE3179	管打合奏 1	2				通年	
GE3180	管打合奏 2		2			通年	
GE3181	管打合奏 3			2		通年	
GE3182	管打合奏 4				2	通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■弦楽器コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL0701	弦楽器奏法研究Ⅰ	6				通年	
GL0702	弦楽器奏法研究Ⅱ		6			通年	
GL0703	弦楽器奏法研究Ⅲ			6		通年	
GL0704	弦楽器奏法研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目（各コース）

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE3201	吹奏楽研究 1	4				通年	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GE3202	吹奏楽研究 2		4			通年	
GE3203	吹奏楽研究 3			4		通年	
GE3204	吹奏楽研究 4				4	通年	
GE3211	オーケストラ研究 1－1	4				通年	
GE3212	オーケストラ研究 1－2		4			通年	
GE3213	オーケストラ研究 1－3			4		通年	
GE3214	オーケストラ研究 1－4				4	通年	
GE3215	オーケストラ研究 2－1	4				通年	
GE3216	オーケストラ研究 2－2		4			通年	
GE3217	オーケストラ研究 2－3			4		通年	
GE3218	オーケストラ研究 2－4				4	通年	
GL3325	ヴィオラ実習 1－1	1				半期	ヴァイオリンのみ履修可
GL3326	ヴィオラ実習 1－2	1				半期	
GL3327	ヴィオラ実習 2－1		1			半期	
GL3328	ヴィオラ実習 2－2		1			半期	
GL3329	ヴィオラ実習 3－1			1		半期	
GL3330	ヴィオラ実習 3－2			1		半期	
GL3331	ヴィオラ実習 4－1				1	半期	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GL3332	ヴィオラ実習 4－2				1	半期	
GE3401	室内楽研究 1	2				通年	
GE3402	室内楽研究 2		2			通年	
GE3403	室内楽研究 3			2		通年	ヴァイオリンのみ履修可
GE3404	室内楽研究 4				2	通年	
GE5825	弦楽合奏 1	4				通年	
GE5826	弦楽合奏 2		4			通年	
GE5827	弦楽合奏 3			4		通年	吹奏楽指導者マスタークラスのみ
GE5828	弦楽合奏 4				4	通年	
GE3415	ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ) 2		2			集中	
GE3416	ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ) 3			2		集中	
GE3417	ヴァイオリンとピアノによるデュオ(ソナタ) 4				2	集中	
GE3171	吹奏楽指導法 1	4				通年	
GE3172	吹奏楽指導法 2		4			通年	
GE3173	吹奏楽指導法 3			4		通年	
GE3174	吹奏楽指導法 4				4	通年	
GE3175	マーチングディレクター概論 1	4				通年	
GE3176	マーチングディレクター概論 2		4			通年	
GE3177	マーチングディレクター概論 3			4		通年	
GE3178	マーチングディレクター概論 4				4	通年	
GE3179	管打合奏 1	2				通年	吹奏楽指導者マスタークラスのみ
GE3180	管打合奏 2		2			通年	
GE3181	管打合奏 3			2		通年	
GE3182	管打合奏 4				2	通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■打楽器コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL0801	打楽器奏法研究Ⅰ	6				通年	
GL0802	打楽器奏法研究Ⅱ		6			通年	
GL0803	打楽器奏法研究Ⅲ			6		通年	
GL0804	打楽器奏法研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目（各コース）

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE1631	サクソオーケストラ 1	4				通年	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GE1632	サクソオーケストラ 2		4			通年	
GE1633	サクソオーケストラ 3			4		通年	
GE1624	サクソオーケストラ 4				4	通年	
GE1634	打楽器アンサンブル 1	4				通年	
GE1635	打楽器アンサンブル 2		4			通年	
GE1636	打楽器アンサンブル 3			4		通年	
GE1814	打楽器アンサンブル 4				4	通年	
GE1637	フルートオーケストラ 1	4				通年	
GE1638	フルートオーケストラ 2		4			通年	
GE1639	フルートオーケストラ 3			4		通年	
GE1614	フルートオーケストラ 4				4	通年	
GE1640	ブリティッシュブラス 1	4				通年	
GE1641	ブリティッシュブラス 2		4			通年	
GE1642	ブリティッシュブラス 3			4		通年	吹奏楽指導者マスタークラス 履修不可
GE1643	ブリティッシュブラス 4				4	通年	
GE3201	吹奏楽研究 1	4				通年	
GE3202	吹奏楽研究 2		4			通年	
GE3203	吹奏楽研究 3			4		通年	
GE3204	吹奏楽研究 4				4	通年	
GE3211	オーケストラ研究 1－1	4				通年	
GE3212	オーケストラ研究 1－2		4			通年	
GE3213	オーケストラ研究 1－3			4		通年	
GE3214	オーケストラ研究 1－4				4	通年	
GE3215	オーケストラ研究 2－1	4				通年	
GE3216	オーケストラ研究 2－2		4			通年	
GE3217	オーケストラ研究 2－3			4		通年	
GE3218	オーケストラ研究 2－4				4	通年	吹奏楽指導者マスタークラスのみ
GE3315	ファンファーレオルケスト 1	4				通年	
GE3316	ファンファーレオルケスト 2		4			通年	
GE3317	ファンファーレオルケスト 3			4		通年	
GE3318	ファンファーレオルケスト 4				4	通年	
GE3401	室内楽研究 1	2				通年	
GE3402	室内楽研究 2		2			通年	
GE3403	室内楽研究 3			2		通年	
GE3404	室内楽研究 4				2	通年	
GE3171	吹奏楽指導法 1	4				通年	
GE3172	吹奏楽指導法 2		4			通年	
GE3173	吹奏楽指導法 3			4		通年	
GE3174	吹奏楽指導法 4				4	通年	
GE3175	マーチングディレクター概論 1	4				通年	
GE3176	マーチングディレクター概論 2		4			通年	
GE3177	マーチングディレクター概論 3			4		通年	
GE3178	マーチングディレクター概論 4				4	通年	吹奏楽指導者マスタークラスのみ
GE3179	管打合奏 1	2				通年	
GE3180	管打合奏 2		2			通年	
GE3181	管打合奏 3			2		通年	
GE3182	管打合奏 4				2	通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■電子オルガンコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL4356	電子オルガン奏法研究Ⅰ	6				通年	
GL4357	電子オルガン奏法研究Ⅱ		6			通年	
GL4358	電子オルガン奏法研究Ⅲ			6		通年	
GL4359	電子オルガン奏法研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL1151	ピアノ実技 1	2				通年	
GL1152	ピアノ実技 2		2			通年	
GL1153	ピアノ実技 3			2		通年	
GL1154	ピアノ実技 4				2	通年	
GE1982	指導グレードマスター講座 1	4				通年	
GE1983	指導グレードマスター講座 2		4			通年	
GE1984	指導グレードマスター講座 3			4		通年	
GE1985	指導グレードマスター講座 4				4	通年	
GE1941	オーケストラ演習 1	2				通年	
GE1947	オーケストラ演習 2		4			通年	
GE1948	オーケストラ演習 3			4		通年	
GE1949	オーケストラ演習 4				4	通年	
GE1976	創作演習		2			通年	
GE1977	編曲演習	2				通年	
GE1953	ポピュラー奏法研究 1	2				通年	
GE1973	ポピュラー奏法研究 2		2			通年	
GE1978	電子オルガン・スタジオエレクトロニクス	2				通年	
GE1980	電子オルガン演奏法 1	2				通年	
GE1981	電子オルガン演奏法 2		2			通年	
GE1970	オーケストレーション	2				通年	
GE3402	室内楽研究 2		2			通年	
GE3403	室内楽研究 3			2		通年	
GE3404	室内楽研究 4				2	通年	
GE6632	パイプオルガン実習			2		集中	
GE1986	演奏グレードマスター講座 1	4				通年	
GE1987	演奏グレードマスター講座 2		4			通年	
GE1988	演奏グレードマスター講座 3			4		通年	
GE1989	演奏グレードマスター講座 4				4	通年	
GE6668	ポピュラー奏法特別研究 1	2				集中	
GE6669	ポピュラー奏法特別研究 2		2			集中	
GE6670	ポピュラー奏法特別研究 3			2		集中	
GE6671	ポピュラー奏法特別研究 4				2	集中	
GK7581	ジャズハーモニー 1		2			半期	電子オルガンコースは 2 ～ 4 年で履修可
GK7582	ジャズハーモニー 2		2			半期	
GK7583	ジャズハーモニー 3			2		半期	電子オルガンコースは 3 ・ 4 年で履修可
GK7584	ジャズハーモニー 4			2		半期	
GK7560	R&P・ヒストリー	4				通年	
GE5915	アンサンブル／ラボ 3－1			1		半期	
GE5916	アンサンブル／ラボ 3－2			1		半期	
GE5917	アンサンブル／ラボ 4－1				1	半期	
GE5918	アンサンブル／ラボ 4－2				1	半期	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ジャズコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL4291	ジャズ奏法研究Ⅰ	6				通年	
GL4292	ジャズ奏法研究Ⅱ		6			通年	
GL4293	ジャズ奏法研究Ⅲ			6		通年	
GL4294	ジャズ奏法研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE2085	アンサンブル／ラボ 1－1	1				半期	
GE2086	アンサンブル／ラボ 1－2	1				半期	
GE2087	アンサンブル／ラボ 2－1		1			半期	
GE2088	アンサンブル／ラボ 2－2		1			半期	
GE5915	アンサンブル／ラボ 3－1			1		半期	
GE5916	アンサンブル／ラボ 3－2			1		半期	
GE5917	アンサンブル／ラボ 4－1				1	半期	
GE5918	アンサンブル／ラボ 4－2				1	半期	
GE2011	特別アンサンブル／ラボ 1	1				半期	担当教員の指示があった場合のみ 履修し、単位を修得することができます。
GE2012	特別アンサンブル／ラボ 2	1				半期	
GE2013	特別アンサンブル／ラボ 3		1			半期	
GE2014	特別アンサンブル／ラボ 4		1			半期	
GE2015	特別アンサンブル／ラボ 5			1		半期	
GE2016	特別アンサンブル／ラボ 6			1		半期	
GE2017	特別アンサンブル／ラボ 7				1	半期	
GE2018	特別アンサンブル／ラボ 8				1	半期	
GK7581	ジャズハーモニー 1	2				半期	
GK7582	ジャズハーモニー 2	2				半期	
GK7583	ジャズハーモニー 3		2			半期	
GK7584	ジャズハーモニー 4		2			半期	
GK5935	ジャズハーモニー 5			2		半期	
GK5936	ジャズハーモニー 6			2		半期	
GE5947	ヴォイシング&オーケストレーション 1	2				半期	
GE7587	ヴォイシング&オーケストレーション 2		2			半期	
GE7588	ヴォイシング&オーケストレーション 3		2			半期	
GE2043	ヴォイシング&オーケストレーション 4			2		半期	
GE2044	ヴォイシング&オーケストレーション 5			2		半期	
GE5946	ヴォイシング&オーケストレーション 6				2	半期	
GE2915	ヴォーカルパフォーマンス 1	1				半期	
GE2916	ヴォーカルパフォーマンス 2	1				半期	
GE2923	ヴォーカルパフォーマンス 3		1			半期	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ジャズコース

(2) 専門選択科目 (各コース) 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE2924	ヴォーカルパフォーマンス 4		1			半期	
GE2925	ヴォーカルパフォーマンス 5			1		半期	
GE2926	ヴォーカルパフォーマンス 6			1		半期	
GE2927	ヴォーカルパフォーマンス 7				1	半期	
GE2928	ヴォーカルパフォーマンス 8				1	半期	
GE1045	ミュージシャンのための英語 1	2				半期	
GE1046	ミュージシャンのための英語 2	2				半期	
GE5945	スタジオ・アレンジング			1		半期	
GK5930	ジャズ作品研究 1			2		半期	
GK5922	ジャズ作品研究 2				2	半期	
GK5926	ジャズ・コンボジション				2	半期	
GE5941	リズムミットレーニング I	1				半期	
GE5942	リズムミットレーニング II	1				半期	
GE5979	ハウトゥインプロヴァイズ	1				半期	
GE5980	ハウトゥコンボーズ	1				半期	
GE5988	インプロビゼーションテクニク		1			半期	
GE5977	ジャズフレージング入門	2				半期	
GE5989	サーヴェイ・オブ・ジャズ 1	2				半期	
GE5990	サーヴェイ・オブ・ジャズ 2	2				半期	
GL5961	ジャズ特別奏法研究 1	1				半期	
GL5962	ジャズ特別奏法研究 2ー 1		1			半期	
GL5963	ジャズ特別奏法研究 2ー 2		1			半期	
GL5964	ジャズ特別奏法研究 3ー 1			1		半期	「副科実技(グループ・個人)」と 同時履修不可
GL5965	ジャズ特別奏法研究 3ー 2			1		半期	
GL5966	ジャズ特別奏法研究 4ー 1				1	半期	
GL5967	ジャズ特別奏法研究 4ー 2				1	半期	
GK5976	最新ジャズ事情 I	2				半期	
GE2949	ミュージックインリリックス 1ー 1	1				半期	
GE2950	ミュージックインリリックス 1ー 2	1				半期	
GE5948	スタイルスタディA		1			半期	
GE5949	スタイルスタディB		1			半期	
GE2917	アレンジング 1			2		半期	
GE2918	アレンジング 2			2		半期	
GE2919	アレンジング 3				2	半期	
GE2920	アレンジング 4				2	半期	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■現代邦楽コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL3501	邦楽器奏法研究 I	6				通年	
GL3502	邦楽器奏法研究 II		6			通年	
GL3503	邦楽器奏法研究 III			6		通年	
GL3504	邦楽器奏法研究 IV				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE6685	邦楽ワークショップ 2		2			通年	
GE6686	邦楽ワークショップ 3			2		通年	
GE6687	邦楽ワークショップ 4				2	通年	
GE0331	日本伝統芸能研究 1	4				通年	
GE0332	日本伝統芸能研究 2		4			通年	
GE0333	日本伝統芸能研究 3			4		通年	
GE0334	日本伝統芸能研究 4				4	通年	
GE6752	古典邦楽作品研究 1		4			通年	
GE6753	古典邦楽作品研究 2		4			通年	
GE6769	現代邦楽作品研究 1		4			通年	
GE6770	現代邦楽作品研究 2		4			通年	
GE3531	邦楽合奏演習 1	2				通年	
GE3532	邦楽合奏演習 2		2			通年	
GE3533	邦楽合奏演習 3			2		通年	
GE3534	邦楽合奏演習 4				2	通年	
GE0580	邦楽サウンド論 1	4				通年	
GE0581	邦楽サウンド論 2		4			通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ロック&ポップスコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL7501	R&P演奏技法研究Ⅰ	6				通年	
GL7502	R&P演奏技法研究Ⅱ		6			通年	
GL7503	R&P演奏技法研究Ⅲ			6		通年	
GL7504	R&P演奏技法研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目（各コース）

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK7511	バンド・ワークショップ 1－1	1				半期	(バンド 1 コマ× 3 回+レコーディン グ 2 コマ× 1 回)を 1 サイクルとして 前期・後期各 3 サイクル
GK7512	バンド・ワークショップ 1－2	1				半期	
GK7513	バンド・ワークショップ 2－1		1			半期	
GK7514	バンド・ワークショップ 2－2		1			半期	
GK7515	アドバンストバンド・ワークショップ 1－1			1		半期	
GK7516	アドバンストバンド・ワークショップ 1－2			1		半期	
GK7517	アドバンストバンド・ワークショップ 2－1				1	半期	
GK7518	アドバンストバンド・ワークショップ 2－2				1	半期	
GK7519	レコーディング・セッション 1－1	1				半期	
GK7520	レコーディング・セッション 1－2	1				半期	
GK7521	レコーディング・セッション 2－1		1			半期	
GK7522	レコーディング・セッション 2－2		1			半期	
GK7523	アドバンストレコーディング・セッション 1－1			1		半期	
GK7524	アドバンストレコーディング・セッション 1－2			1		半期	
GK7525	アドバンストレコーディング・セッション 2－1				1	半期	
GK7526	アドバンストレコーディング・セッション 2－2				1	半期	
GK7608	R&P・ベーシックス	2				半期	
GK7609	R&P・セオリー	2				半期	
GE7613	R&P・アレンジⅠ	2				半期	
GE7614	R&P・アレンジⅡ		2			半期	
GE7615	R&P・アレンジⅢ		2			半期	
GE7616	R&P・アレンジⅣ			2		半期	
GE7527	R&P・ハーモニーⅠ		2			半期	
GE7528	R&P・ハーモニーⅡ		2			半期	
GE7529	DAWアレンジⅠ			2		半期	
GE7530	DAWアレンジⅡ			2		半期	
GK7560	R&P・ヒストリー	4				通年	
GE7617	作詞／作曲Ⅰ	2				半期	
GE7618	作詞／作曲Ⅱ	2				半期	
GE7619	作詞／作曲Ⅲ		2			半期	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ロック&ポップスコース

(2) 専門選択科目（各コース） 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE7620	楽曲分析		2			半期	
GE7565	インストゥルメンツ研究		4			通年	
GK7566	ミュージック・ビジネス		4			通年	
GE7621	バーチャル・プロダクション			1		半期	
GE7622	DTM実習 1	1				半期	
GE7623	DTM実習 2	1				半期	
GE7575	マスタークラス・セッション 1	2				集中	
GE7576	マスタークラス・セッション 2		2			集中	
GE7577	マスタークラス・セッション 3			2		集中	
GE7578	マスタークラス・セッション 4				2	集中	
GE7593	R&P・ヴォイストレーニング	1				集中	
GK5390	スタジオエレクトロニクス			4		通年	
GL7601	副科実技(R&P) 1	1				半期	全コース共通専門選択科目の 副科実技(グループ・個人)と 同時履修不可
GL7602	副科実技(R&P) 2－1		1			半期	
GL7603	副科実技(R&P) 2－2		1			半期	
GL7604	副科実技(R&P) 3－1			1		半期	
GL7605	副科実技(R&P) 3－2			1		半期	
GL7606	副科実技(R&P) 4－1				1	半期	
GL7607	副科実技(R&P) 4－2				1	半期	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 声楽コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL4516	声楽研究Ⅰ	6				通年	
GL4517	声楽研究Ⅱ		6			通年	
GL4518	声楽研究Ⅲ			6		通年	
GL4519	声楽研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE2351	声楽基礎演習Ⅰ－1	2				通年	
GE2352	声楽基礎演習Ⅰ－2	2				通年	
GE2353	声楽基礎演習Ⅱ－1		2			通年	
GE2354	声楽基礎演習Ⅱ－2		2			通年	
GE2315	シアターダンスⅠ－1	1				半期	
GE2316	シアターダンスⅠ－2	1				半期	
GE2317	シアターダンスⅡ－1		1			半期	
GE2318	シアターダンスⅡ－2		1			半期	
GE2356	イタリア歌曲研究Ⅰ		2			通年	
GE2357	イタリア歌曲研究Ⅱ			2		通年	
GE2358	ドイツ歌曲研究Ⅰ		2			通年	
GE2359	ドイツ歌曲研究Ⅱ			2		通年	
GE2360	フランス歌曲研究Ⅰ			2		通年	
GE2361	フランス歌曲研究Ⅱ				2	通年	
GE2362	日本歌曲研究Ⅰ			2		通年	
GE2363	日本歌曲研究Ⅱ				2	通年	
GE2431	専門合唱Ⅰ	4				通年	
GE2432	専門合唱Ⅱ		4			通年	
GE2433	専門合唱Ⅲ			4		通年	
GE2434	専門合唱Ⅳ				4	通年	
GE2446	合唱指導法(含指揮法)		2			通年	
GL2439	ピアノ実技	1				半期	
GE2453	オペラ実習Ⅰ			4		通年	
GE2454	オペラ実習Ⅱ				4	通年	
GE2456	アンサンブル実習Ⅰ		2			通年	
GE2457	アンサンブル実習Ⅱ			4		通年	
GE2458	アンサンブル実習Ⅲ				4	通年	
GK2480	音声学	4				通年	
GE1531	アコースティックミュージカルスタディⅠ	2				通年	
GE1532	アコースティックミュージカルスタディⅡ		2			通年	
GE1533	アコースティックミュージカルスタディⅢ			2		通年	
GE1534	アコースティックミュージカルスタディⅣ				2	通年	
GE1541	室内オペラスタディⅠ	2				通年	
GE1542	室内オペラスタディⅡ		2			通年	
GE1543	室内オペラスタディⅢ			2		通年	
GE1544	室内オペラスタディⅣ				2	通年	
GE1551	コーラスアンサンブル実習Ⅰ	2				通年	
GE1552	コーラスアンサンブル実習Ⅱ		2			通年	コーラスアンサンブルクラスのみ
GE1553	コーラスアンサンブル実習Ⅲ			2		通年	
GE1554	コーラスアンサンブル実習Ⅳ				2	通年	
GE1561	アンサンブルヴォイストレーニングⅠ	2				通年	
GE1562	アンサンブルヴォイストレーニングⅡ		2			通年	コーラスアンサンブルクラスのみ
GE1563	アンサンブルヴォイストレーニングⅢ			2		通年	
GE1564	アンサンブルヴォイストレーニングⅣ				2	通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

■ ミュージカルコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE3705	シーンスタディⅠ	4				通年	
GE3706	シーンスタディⅡ		4			通年	
GE3707	シーンスタディⅢ			4		通年	
GE3708	シーンスタディⅣ				4	通年	
GE3715	MSアンサンブル実習Ⅰ	2				通年	
GE3716	MSアンサンブル実習Ⅱ		2			通年	
GE3717	MSアンサンブル実習Ⅲ			2		通年	
GE3718	MSアンサンブル実習Ⅳ				2	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL3751	ヴォイストレーニングⅠ	2				通年	
GL3752	ヴォイストレーニングⅡ		2			通年	
GL3753	ヴォイストレーニングⅢ			2		通年	
GL3754	ヴォイストレーニングⅣ				2	通年	
GK3755	英会話講座Ⅰ	4				通年	
GK3756	英会話講座Ⅱ		4			通年	
GK3757	ミュージカル概論	4				通年	
GE3782	舞台芸術概論		4			通年	
GE3785	舞台音楽論Ⅰ			2		半期	
GE3786	舞台音楽論Ⅱ			2		半期	
GE3709	伝統芸能実習Ⅰ		1			半期	
GE3710	伝統芸能実習Ⅱ		1			半期	
GK3773	演技論Ⅰ			2		半期	
GK3774	演技論Ⅱ			2		半期	
GK3775	演出論Ⅰ			2		半期	
GK3776	演出論Ⅱ			2		半期	
GK3777	戯曲論			4		通年	
GK3778	ワークショップリーダー養成講座Ⅰ				2	半期	
GK3779	ワークショップリーダー養成講座Ⅱ				2	半期	
GE3780	イングリッシュ シアトリカル リーディング		2			通年	
GK3781	オーディション実習			1		集中	
GE3801	ダンスパフォーマンスⅠ－1	2				通年	
GE3802	ダンスパフォーマンスⅠ－2	2				通年	
GE3803	ダンスパフォーマンスⅠ－3	2				通年	
GE3804	ダンスパフォーマンスⅠ－4	2				通年	
GE3805	ダンスパフォーマンスⅡ－1		2			通年	
GE3806	ダンスパフォーマンスⅡ－2		2			通年	
GE3807	ダンスパフォーマンスⅡ－3		2			通年	
GE3808	ダンスパフォーマンスⅡ－4		2			通年	
GE3809	ダンスパフォーマンスⅢ－1			2		通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ミュージカルコース

(2) 専門選択科目 (各コース) 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE3810	ダンスパフォーマンス 3－2			2		通年	
GE3811	ダンスパフォーマンス 3－3			2		通年	
GE3812	ダンスパフォーマンス 3－4			2		通年	
GE3813	ダンスパフォーマンス 4－1				2	通年	
GE3814	ダンスパフォーマンス 4－2				2	通年	
GE3815	ダンスパフォーマンス 4－3				2	通年	
GE3816	ダンスパフォーマンス 4－4				2	通年	
GE3817	アクティング 1	2				通年	
GE3818	アクティング 2		2			通年	
GE3819	アクティング 3			2		通年	
GE3820	アクティング 4				2	通年	
GE3821	ヴォーカルミュージック 1	2				通年	
GE3822	ヴォーカルミュージック 2		2			通年	
GE3823	ヴォーカルミュージック 3			2		通年	
GE3824	ヴォーカルミュージック 4				2	通年	
GK3787	スタッフワーク概論	2				半期	
GE2316	シアターダンス 1－2	1				半期	
GE2318	シアターダンス 2－2		1			半期	
GE7405	バレエ実習 1－1	2				通年	オーディション有
GE7406	バレエ実習 1－2	2				通年	オーディション有
GE7407	バレエ実習 2－1		2			通年	オーディション有
GE7408	バレエ実習 2－2		2			通年	オーディション有
GE7409	バレエ実習 3－1			2		通年	オーディション有
GE7410	バレエ実習 3－2			2		通年	オーディション有
GE7411	バレエ実習 4－1				2	通年	オーディション有
GE7412	バレエ実習 4－2				2	通年	オーディション有
GE7413	身体表現実習 1－1	2				通年	オーディション有
GE7414	身体表現実習 1－2	2				通年	オーディション有
GE7418	身体表現実習 2－1		2			通年	オーディション有
GE7419	身体表現実習 2－2		2			通年	オーディション有
GE7423	身体表現実習 3－1			2		通年	オーディション有
GE7424	身体表現実習 3－2			2		通年	オーディション有
GE7428	身体表現実習 4－1				2	通年	オーディション有
GE7429	身体表現実習 4－2				2	通年	オーディション有
GE2727	身体表現演習 1		1			半期	
GE2728	身体表現演習 2		1			半期	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■バレエコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE7401	バレエ研究Ⅰ	6				通年	
GE7402	バレエ研究Ⅱ		6			通年	
GE7403	バレエ研究Ⅲ			6		通年	
GE7404	バレエ研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE7405	バレエ実習 1－1	2				通年	
GE7406	バレエ実習 1－2	2				通年	
GE7407	バレエ実習 2－1		2			通年	
GE7408	バレエ実習 2－2		2			通年	
GE7409	バレエ実習 3－1			2		通年	
GE7410	バレエ実習 3－2			2		通年	
GE7411	バレエ実習 4－1				2	通年	
GE7412	バレエ実習 4－2				2	通年	
GE7413	身体表現実習 1－1	2				通年	
GE7414	身体表現実習 1－2	2				通年	
GE7415	身体表現実習 1－3	2				通年	
GE7416	身体表現実習 1－4	2				通年	
GE7417	身体表現実習 1－5	2				通年	
GE7418	身体表現実習 2－1		2			通年	
GE7419	身体表現実習 2－2		2			通年	
GE7420	身体表現実習 2－3		2			通年	
GE7421	身体表現実習 2－4		2			通年	
GE7422	身体表現実習 2－5		2			通年	
GE7423	身体表現実習 3－1			2		通年	
GE7424	身体表現実習 3－2			2		通年	
GE7425	身体表現実習 3－3			2		通年	
GE7426	身体表現実習 3－4			2		通年	
GE7427	身体表現実習 3－5			2		通年	
GE7428	身体表現実習 4－1				2	通年	
GE7429	身体表現実習 4－2				2	通年	
GE7430	身体表現実習 4－3				2	通年	
GE7431	身体表現実習 4－4				2	通年	
GE7432	身体表現実習 4－5				2	通年	
GE7433	バレエ指導特別実習 1	2				通年	
GE7434	バレエ指導特別実習 2		2			通年	
GE7435	バレエ指導特別実習 3			2		通年	
GE7436	バレエ指導特別実習 4				2	通年	
GE3801	ダンスパフォーマンス 1－1	2				通年	
GE3802	ダンスパフォーマンス 1－2	2				通年	
GE3805	ダンスパフォーマンス 2－1		2			通年	
GE3806	ダンスパフォーマンス 2－2		2			通年	
GE3809	ダンスパフォーマンス 3－1			2		通年	
GE3810	ダンスパフォーマンス 3－2			2		通年	
GE3813	ダンスパフォーマンス 4－1				2	通年	
GE3814	ダンスパフォーマンス 4－2				2	通年	
GK3755	英会話講座 1	4				通年	
GK3756	英会話講座 2		4			通年	
GE2316	シアターダンス 1－2	1				半期	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 声優アニメソングコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE5442	ASスタジオワーク	2				通年	
GE5443	音声表現実習Ⅰ－１		〔 2 〕			通年	いずれか 1 科目を選択
GE5444	音声表現実習Ⅰ－２		〔 2 〕			通年	
GE5445	音声表現実習Ⅱ－１			〔 2 〕		通年	いずれか 1 科目を選択
GE5446	音声表現実習Ⅱ－２			〔 2 〕		通年	
GE5447	音声表現実習Ⅲ－１				〔 2 〕	通年	いずれか 1 科目を選択
GE5448	音声表現実習Ⅲ－２				〔 2 〕	通年	
GE5449	ASアンサンブル実習Ⅰ	2				通年	
GE5450	ASアンサンブル実習Ⅱ		2			通年	
GE5451	ASアンサンブル実習Ⅲ			2		通年	
GE5452	ASアンサンブル実習Ⅳ				2	通年	
GL5453	ヴォイスアーティスト技法研究Ⅰ	2				通年	
GL5454	ヴォイスアーティスト技法研究Ⅱ		2			通年	
GL5455	ヴォイスアーティスト技法研究Ⅲ			2		通年	
GL5456	ヴォイスアーティスト技法研究Ⅳ				2	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目（各コース）

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE5441	ヴォイスアーティスト基礎演習	2				通年	
GE5458	ヴォイスアーティスト演習 1－1		2			通年	
GE5459	ヴォイスアーティスト演習 1－2		2			通年	
GE5460	ヴォイスアーティスト演習 1－3		2			通年	
GE5461	ヴォイスアーティスト演習 1－4		2			通年	
GE5462	ヴォイスアーティスト演習 2－1			2		通年	
GE5463	ヴォイスアーティスト演習 2－2			2		通年	
GE5464	ヴォイスアーティスト演習 2－3			2		通年	
GE5465	ヴォイスアーティスト演習 2－4			2		通年	
GE5466	ヴォイスアーティスト演習 3－1				2	通年	
GE5467	ヴォイスアーティスト演習 3－2				2	通年	
GE5468	ヴォイスアーティスト演習 3－3				2	通年	
GE5469	ヴォイスアーティスト演習 3－4				2	通年	
GE5470	アニメソング総合演習 1	2				通年	
GE5471	アニメソング総合演習 2		2			通年	
GE5472	アニメソング総合演習 3			2		通年	
GE5473	アニメソング総合演習 4				2	通年	
GK5485	コンテンツ制作 1	4				通年	
GK5486	コンテンツ制作 2		4			通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 声優アニメソングコース

(2) 専門選択科目（各コース） 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK5487	コンテンツ制作 3		4			通年	
GE5479	ASダンス演習 1	2				通年	
GE5480	ASダンス演習 2		2			通年	
GE5481	ASダンス演習 3			2		通年	
GE5482	ASダンス演習 4				2	通年	
GE5483	ナレーション基礎演習	2				通年	
GE2315	シアターダンス 1－1	1				半期	
GE2316	シアターダンス 1－2	1				半期	
GE2727	身体表現演習 1		1			半期	
GE2728	身体表現演習 2		1			半期	
GE3809	ダンスパフォーマンス 3－1		2			通年	
GE5484	AS身体表現実習		2			通年	
GK3773	演技論 1		2			半期	
GK3774	演技論 2		2			半期	
GK3775	演出論 1		2			半期	
GK3776	演出論 2		2			半期	
GE3782	舞台芸術概論		4			通年	
GE3709	伝統芸能実習 1		1			半期	
GE3710	伝統芸能実習 2		1			半期	
GE6771	ヴォイスアンサンブル 1	2				通年	
GE6772	ヴォイスアンサンブル 2		2			通年	
GE6773	ヴォイスアンサンブル 3			2		通年	
GE6774	ヴォイスアンサンブル 4				2	通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ダンスコース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE7001	舞踊研究Ⅰ	6				通年	ジャズ、ストリート、コンテンポラリーの 中から1つを選択
GE7002	舞踊研究Ⅱ		6			通年	
GE7003	舞踊研究Ⅲ			6		通年	
GE7004	舞踊研究Ⅳ				6	通年	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE3801	ダンスパフォーマンス1-1	2				通年	
GE3802	ダンスパフォーマンス1-2	2				通年	
GE3803	ダンスパフォーマンス1-3	2				通年	
GE3804	ダンスパフォーマンス1-4	2				通年	
GE3805	ダンスパフォーマンス2-1		2			通年	
GE3806	ダンスパフォーマンス2-2		2			通年	
GE3807	ダンスパフォーマンス2-3		2			通年	
GE3808	ダンスパフォーマンス2-4		2			通年	
GE3809	ダンスパフォーマンス3-1			2		通年	
GE3810	ダンスパフォーマンス3-2			2		通年	
GE3811	ダンスパフォーマンス3-3			2		通年	
GE3812	ダンスパフォーマンス3-4			2		通年	
GE3813	ダンスパフォーマンス4-1				2	通年	
GE3814	ダンスパフォーマンス4-2				2	通年	
GE3815	ダンスパフォーマンス4-3				2	通年	
GE3816	ダンスパフォーマンス4-4				2	通年	
GE7413	身体表現実習1-1	2				通年	
GE7414	身体表現実習1-2	2				通年	
GE7418	身体表現実習2-1		2			通年	
GE7419	身体表現実習2-2		2			通年	
GE7423	身体表現実習3-1			2		通年	
GE7424	身体表現実習3-2			2		通年	
GE7428	身体表現実習4-1				2	通年	
GE7429	身体表現実習4-2				2	通年	
GE7405	バレエ実習1-1	2				通年	
GE7406	バレエ実習1-2	2				通年	
GE7407	バレエ実習2-1		2			通年	
GE7408	バレエ実習2-2		2			通年	
GE7409	バレエ実習3-1			2		通年	
GE7410	バレエ実習3-2			2		通年	
GE7411	バレエ実習4-1				2	通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ダンスコース

(2) 専門選択科目 (各コース) 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE7412	バレエ実習4-2				2	通年	
GE2315	シアターダンス1-1	1				半期	
GE2316	シアターダンス1-2	1				半期	
GE3709	伝統芸能実習1		1			半期	
GE3710	伝統芸能実習2		1			半期	
GE3821	ヴォーカルミュージック1	2				通年	
GE3822	ヴォーカルミュージック2		2			通年	
GE3823	ヴォーカルミュージック3			2		通年	
GE3824	ヴォーカルミュージック4				2	通年	
GK3773	演技論1	2				半期	
GK3774	演技論2	2				半期	
GK3775	演出論1		2			半期	
GK3776	演出論2		2			半期	
GE3782	舞台芸術概論		4			通年	
GK3755	英会話講座1	4				通年	
GK3756	英会話講座2		4			通年	
GK5485	コンテンツ制作1	4				通年	
GK5486	コンテンツ制作2		4			通年	
GK5487	コンテンツ制作3		4			通年	
GE7010	リズムトレーニング		2			通年	
GE7011	舞踊創作研究1-1	2				通年	
GE7012	舞踊創作研究1-2	2				通年	
GE7013	舞踊創作研究1-3	2				通年	
GE7014	舞踊創作研究1-4	2				通年	
GE7015	舞踊創作研究1-5	2				通年	
GE7016	舞踊創作研究2-1		2			通年	
GE7017	舞踊創作研究2-2		2			通年	
GE7018	舞踊創作研究2-3		2			通年	
GE7019	舞踊創作研究2-4		2			通年	
GE7020	舞踊創作研究2-5		2			通年	
GE7021	舞踊創作研究3-1			2		通年	
GE7022	舞踊創作研究3-2			2		通年	
GE7023	舞踊創作研究3-3			2		通年	
GE7024	舞踊創作研究3-4			2		通年	
GE7025	舞踊創作研究3-5			2		通年	
GE7026	舞踊創作研究4-1				2	通年	
GE7027	舞踊創作研究4-2				2	通年	
GE7028	舞踊創作研究4-3				2	通年	
GE7029	舞踊創作研究4-4				2	通年	
GE7030	舞踊創作研究4-5				2	通年	
GE4890	卒業研究			4		通年	

単位数に〔 〕のついているものは、いずれか1科目を履修すること。		授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。 (単位数の記載がある年次以降も履修可能です)	
■ ワールドミュージックコース			

(1) 専門必修科目

科目 コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL3601	ワールドミュージック専門研究Ⅰ－A	〔6〕				通年	単専攻の場合
GL3605	ワールドミュージック専門研究Ⅰ－B	〔3〕				通年	複専攻の場合
GL3606	ワールドミュージック専門研究Ⅰ－C	〔3〕					
GL3602	ワールドミュージック専門研究Ⅱ－A		〔6〕			通年	単専攻の場合
GL3607	ワールドミュージック専門研究Ⅱ－B		〔3〕			通年	複専攻の場合
GL3608	ワールドミュージック専門研究Ⅱ－C		〔3〕				
GL3603	ワールドミュージック専門研究Ⅲ－A			〔6〕		通年	単専攻の場合
GL3609	ワールドミュージック専門研究Ⅲ－B			〔3〕		通年	複専攻の場合
GL3610	ワールドミュージック専門研究Ⅲ－C			〔3〕			
GL3604	ワールドミュージック専門研究Ⅳ－A				〔6〕	通年	単専攻の場合
GL3611	ワールドミュージック専門研究Ⅳ－B				〔3〕	通年	複専攻の場合
GL3612	ワールドミュージック専門研究Ⅳ－C				〔3〕		
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

単専攻の場合（レッスン時間は 50 分）と複専攻の場合（レッスン時間は各 30 分）とのいずれかを選択することができます。

(2) 専門選択科目（各コース）

科目 コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK3621	ワールドミュージック概論 1	2				半期	
GK3622	ワールドミュージック概論 2		2			半期	
GK3623	ワールドミュージック概論 3			2		半期	
GK3624	ワールドミュージック概論 4				2	半期	
GK3625	ワールドミュージック演奏論 1	2				半期	
GK3626	ワールドミュージック演奏論 2		2			半期	
GK3627	ワールドミュージック演奏論 3			2		半期	
GK3628	ワールドミュージック演奏論 4				2	半期	
	ワールドミュージック研究	(別表1)参照					(別表1)の科目の中から選択、履修
GE4890	卒業研究			4			

単位数に〔 〕のついているものは、いずれか1科目を履修すること。					授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。 (単位数の記載がある年次以降も履修可能です)	
■ ワールドミュージックコース						

(別表1)「ワールドミュージック研究」として履修できる科目

コード	授 業 科 目	設置元 (コース)	単 位				授業 期間	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次		
GE1116	浄書と音源の制作	作曲	4				通年	
GK1111	管弦楽法				4		通年	
GK1138	楽曲分析研究Ⅰ				2		半期	
GK1139	楽曲分析研究Ⅱ				2		半期	
GE1168	歌曲作曲研究Ⅰ		2				半期	
GE1169	歌曲作曲研究Ⅱ		2				半期	
GE1179	合唱曲作曲研究			2			半期	
GE1180	音階研究			2			半期	
GE1189	20世紀の和声法研究				2		半期	
GE1190	20世紀の奏法研究				2		半期	
GE1193	20世紀の作曲技法Ⅰ				2		半期	
GE1194	20世紀の作曲技法Ⅱ				2		半期	
GK7581	ジャズハーモニー 1	音楽・ 音響デザイン	2				半期	
GK7582	ジャズハーモニー 2		2				半期	
GK7583	ジャズハーモニー 3			2			半期	
GK7584	ジャズハーモニー 4			2			半期	
GE1225	DAW演習Ⅰ		2				通年	
GE1227	ProTools 演習			2			通年	
GE5381	スタジオレコーディング演習 1		2				通年	
GE5382	スタジオレコーディング演習 2			2			通年	
GE5383	スタジオレコーディング演習 3				2		通年	
GE5384	スタジオレコーディング演習 4					2	通年	
GK5385	サウンドエンジニアリング基礎理論		4				通年	
GK5391	音響空間エレクトロニクス 1		4				通年	
GK5392	音響空間エレクトロニクス 2			4			通年	
GK5393	音響空間エレクトロニクス 3				4		通年	
GK5394	音響空間エレクトロニクス 4					4	通年	
GE5361	録音技術研究 1	ピアノ	2				通年	
GE5362	録音技術研究 2			2			通年	
GE5363	録音技術研究 3				2		通年	
GE5364	録音技術研究 4					2	通年	
GE1252	テクノパフォーマンス研究 2			2			通年	
GE1253	テクノパフォーマンス研究 3				2		通年	
GE1254	テクノパフォーマンス研究 4					2	通年	
GE1376	器楽曲伴奏法Ⅰ－1		1				半期	オーディション有り
GE1377	器楽曲伴奏法Ⅰ－2		1				半期	
GE1378	器楽曲伴奏法Ⅱ－1			1			半期	
GE1379	器楽曲伴奏法Ⅱ－2			1			半期	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ ワールドミュージックコース

(別表1)「ワールドミュージック研究」として履修できる科目 続き

コード	授 業 科 目	設置元 (コース)	単 位				授業 期間	備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次		
GE1382	歌曲伴奏法Ⅰ	ピアノ	1				半期	オーディション有
GE1401	二重奏Ⅰ		2				通年	オーディション有
GE1402	二重奏Ⅱ			2			通年	オーディション有
GE1416	初見視奏Ⅰ		1				半期	
GE1417	初見視奏Ⅱ		1				半期	
GK1441	ピアノ音楽講座		4				通年	
GK1491	ピアノ音楽鑑賞研究		4				通年	
GJ1494	リズムパフォーマンス		4				通年	
GE1495	管弦楽内ピアノ奏法研究 1		2				通年	オーディション有
GE1496	管弦楽内ピアノ奏法研究 2			2			通年	
GE1497	管弦楽内ピアノ奏法研究 3	管・弦・打			2		通年	
GE1498	管弦楽内ピアノ奏法研究 4					2	通年	
GE3401	室内楽研究 1		2				通年	オーディション有
GE3402	室内楽研究 2			2			通年	
GE3403	室内楽研究 3				2		通年	
GE3404	室内楽研究 4					2	通年	
GE1941	オーケストラ演習 1	電子オルガン	2				通年	オーディション有(*1)
GE2351	声楽基礎演習Ⅰ－1	声楽	2				通年	オーディション有(*1)
GE2352	声楽基礎演習Ⅰ－2		2				通年	
GE2353	声楽基礎演習Ⅱ－1			2			通年	
GE2354	声楽基礎演習Ⅱ－2			2			通年	
GE2446	合唱指導法(含指揮法)			2			通年	
GK2480	音声学	現代邦楽	4				通年	
GE6685	邦楽ワークショップ 2			2			通年	
GE6686	邦楽ワークショップ 3				2		通年	
GE6687	邦楽ワークショップ 4					2	通年	
GK3757	ミュージカル概論	ミュージカル	4				通年	
GK3782	舞台芸術概論			4			通年	
GE3785	舞台音楽論Ⅰ				2		半期	
GE3786	舞台音楽論Ⅱ				2		半期	
GE2716	リコーダーアンサンブル 1	音楽教育		2			通年	
GE2717	リコーダーアンサンブル 2				2		通年	
GE2718	リコーダーアンサンブル 3					2	通年	

(*1) 複専攻で該当コース、該当の楽器の主科を履修していること

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

単位数に〔 〕のついているものは、いずれか 1 科目を履修すること。

■ 音楽教育コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK2703	音楽教育研究Ⅰ	4				通年	
GK2704	音楽教育研究Ⅱ		4			通年	
GK2705	音楽教育研究Ⅲ			4		通年	
GK2706	音楽教育研究Ⅳ				4	通年	
GK2745	アートマネジメント研究 1	4				通年	
GE2721	邦楽実習(民謡) 1	〔2〕				通年	いずれか 1 科目を選択
GE6754	邦楽実習(謡曲) 1	〔2〕				通年	
GE2741	邦楽実習(箏) 1	〔2〕				通年	いずれか 1 科目を選択
GE2791	邦楽実習(笛) 1	〔2〕				通年	
GE0826	作曲法・編曲法Ⅰ		2			半期	
GE0827	作曲法・編曲法Ⅱ		2			半期	
GE2725	言語表現演習Ⅰ	1				半期	
GE2726	言語表現演習Ⅱ	1				半期	
GE2727	身体表現演習Ⅰ		1			半期	
GE2728	身体表現演習Ⅱ		1			半期	
GL4641	声楽実習	2				通年	
GL4661	ピアノ実習	2				通年	
	必修科目単位小計	18	10	4	4		必修科目単位合計36単位

(2) 専門選択科目(各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE2711	合唱活動指導法 1			2		通年	
GE2712	合唱活動指導法 2				2	通年	
GE2716	リコーダーアンサンブル 1		2			通年	
GE2717	リコーダーアンサンブル 2			2		通年	
GE2718	リコーダーアンサンブル 3				2	通年	
GE2722	邦楽実習(民謡) 2		2			通年	
GE6755	邦楽実習(謡曲) 2		2			通年	
GE2742	邦楽実習(箏) 2		2			通年	
GE2792	邦楽実習(笛) 2		2			通年	
GE2723	邦楽実習(民謡) 3			2		通年	
GE6756	邦楽実習(謡曲) 3			2		通年	
GE2743	邦楽実習(箏) 3			2		通年	
GE2793	邦楽実習(笛) 3			2		通年	
GE2724	邦楽実習(民謡) 4				2	通年	
GE6757	邦楽実習(謡曲) 4				2	通年	
GE2744	邦楽実習(箏) 4				2	通年	
GE2794	邦楽実習(笛) 4				2	通年	
GE2761	即興伴奏法			2		通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 音楽教育コース

(2) 専門選択科目 (各コース) 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GL1147	音楽実技実習 2		2			通年	
GL1148	音楽実技実習 3			2		通年	
GL1149	音楽実技実習 4				2	通年	
GE2729	合唱実習 1	2				通年	
GE2730	合唱実習 2		2			通年	
GE2796	教育アンサンブル 1	2				通年	
GE2797	教育アンサンブル 2		2			通年	
GE2798	教育アンサンブル 3			2		通年	
GE2799	教育アンサンブル 4				2	通年	
GK7560	R&P・ヒストリー	4				通年	
GE7565	インストゥルメンツ研究		4			通年	
GK7566	ミュージック・ビジネス		4			通年	
GK3757	ミュージカル概論	4				通年	
GE3782	舞台芸術概論		4			通年	
GK3777	戯曲論			4		通年	
GK3778	ワークショップリーダー養成講座 1				2	半期	
GK3779	ワークショップリーダー養成講座 2				2	半期	
GE3201	吹奏楽研究 1	4				通年	
GE1116	浄書と音源の制作	4				通年	
GK2746	アートマネジメント研究 2		4			通年	
GK2747	アートマネジメント研究 3			4		通年	
GK2748	アートマネジメント研究 4				4	通年	
GK2787	音楽科教育法 I		2			半期	
GK2788	音楽科教育法 II		2			半期	
GK2789	音楽科教育法 III			2		半期	
GK2790	音楽科教育法 IV			2		半期	
GK2738	音楽教育総合講座 1		4			通年	
GK2739	音楽教育総合講座 2			4		通年	
GK2740	音楽教育総合講座 3				4	通年	

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 音楽環境創造コース

(1) 専門必修科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GJ7801	公演実習 I	2				通年	
GJ7802	公演実習 II		2			通年	
GJ7803	公演実習 III			2		通年	
GJ7804	公演実習 IV				2	通年	
GL7805	音楽環境創造研究 I - 1	[2]				半期	いずれか 2 科目を選択
GL7806	音楽環境創造研究 I - 2	[2]				半期	
GL7807	音楽環境創造研究 I - 3	[2]				半期	
GL7808	音楽環境創造研究 I - 4	[2]				半期	
GL7809	音楽環境創造研究 II - 1		[2]			半期	いずれか 2 科目を選択
GL7810	音楽環境創造研究 II - 2		[2]			半期	
GL7811	音楽環境創造研究 II - 3		[2]			半期	
GL7812	音楽環境創造研究 II - 4		[2]			半期	
GL7813	音楽環境創造研究 III - 1			[2]		半期	いずれか 2 科目を選択
GL7814	音楽環境創造研究 III - 2			[2]		半期	
GL7815	音楽環境創造研究 III - 3			[2]		半期	
GL7816	音楽環境創造研究 III - 4			[2]		半期	
GL7817	音楽環境創造研究 IV - 1				[2]	半期	いずれか 2 科目を選択
GL7818	音楽環境創造研究 IV - 2				[2]	半期	
GL7819	音楽環境創造研究 IV - 3				[2]	半期	
GL7820	音楽環境創造研究 IV - 4				[2]	半期	
	必修科目単位小計	6	6	6	6		必修科目単位合計24単位

(2) 専門選択科目 (各コース)

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK7821	舞台制作研究 1 - 1	4				通年	
GK7822	舞台制作研究 1 - 2	4				通年	
GK7823	舞台制作研究 2 - 1		4			通年	
GK7824	舞台制作研究 2 - 2		4			通年	
GK7825	舞台音響研究 1 - 1	4				通年	
GK7826	舞台音響研究 1 - 2	4				通年	
GK7827	舞台音響研究 2 - 1		4			通年	
GK7828	舞台音響研究 2 - 2		4			通年	
GK7829	舞台照明研究 1 - 1	4				通年	
GK7830	舞台照明研究 1 - 2	4				通年	
GK7831	舞台照明研究 2 - 1		4			通年	
GK7832	舞台照明研究 2 - 2		4			通年	
GK7833	資格対策講座 1			2		半期	
GK7834	資格対策講座 2			2		半期	
GK7835	資格対策講座 3			2		半期	
GK7836	資格対策講座 4			2		半期	
GK7837	資格対策講座 5			2		半期	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 音楽環境創造コース

(2) 専門選択科目（各コース） 続き

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK7838	資格対策講座 6			2		半期	
GK5485	コンテンツ制作 1	4				通年	
GK5486	コンテンツ制作 2		4			通年	
GK5487	コンテンツ制作 3			4		通年	
GK3773	演技論 1		2			半期	
GK3774	演技論 2		2			半期	
GK3775	演出論 1			2		半期	
GK3776	演出論 2			2		半期	
GE7839	舞台美術演習 1	2				通年	
GE7840	舞台美術演習 2		2			通年	
GE7841	舞台美術演習 3			2		通年	
GE7842	舞台美術演習 4				2	通年	
GE7843	衣裳制作演習 1	2				通年	
GE7844	衣裳制作演習 2		2			通年	
GE7845	衣裳制作演習 3			2		通年	
GE7846	衣裳制作演習 4				2	通年	
GE7847	応用合奏実習 1－1	2				通年	
GE7848	応用合奏実習 1－2	2				通年	
GE7849	応用合奏実習 2－1		2			通年	
GE7850	応用合奏実習 2－2		2			通年	
GE7851	応用合奏実習 3－1			2		通年	
GE7852	応用合奏実習 3－2			2		通年	
GE7853	応用合奏実習 4－1				2	通年	
GE7854	応用合奏実習 4－2				2	通年	
GJ7855	フィールドインターンシップ 1－1	1				集中	
GJ7856	フィールドインターンシップ 1－2	1				集中	
GJ7857	フィールドインターンシップ 1－3	1				集中	
GJ7858	フィールドインターンシップ 1－4	1				集中	
GJ7859	フィールドインターンシップ 1－5	1				集中	
GJ7860	フィールドインターンシップ 1－6	1				集中	
GJ7861	フィールドインターンシップ 2－1		1			集中	
GJ7862	フィールドインターンシップ 2－2		1			集中	
GJ7863	フィールドインターンシップ 2－3		1			集中	
GJ7864	フィールドインターンシップ 2－4		1			集中	
GJ7865	フィールドインターンシップ 2－5		1			集中	
GJ7866	フィールドインターンシップ 2－6		1			集中	
GJ7867	フィールドインターンシップ 3－1			1		集中	
GJ7868	フィールドインターンシップ 3－2			1		集中	
GJ7869	フィールドインターンシップ 3－3			1		集中	
GJ7870	フィールドインターンシップ 3－4			1		集中	
GJ7871	フィールドインターンシップ 3－5			1		集中	
GJ7872	フィールドインターンシップ 3－6			1		集中	
GE4890	卒業研究			4		通年	

■ 専門選択科目（全コース共通）①

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK0161	音楽と宗教	2				半期	
GK0162	楽器学	2				半期	
GE0537	吹奏楽演奏理論 1	4				通年	
GE0538	吹奏楽演奏理論 2		4			通年	
GE0539	吹奏楽演奏理論 3			4		通年	
GE0540	吹奏楽演奏理論 4				4	通年	
GK0571	管弦楽概論		4			通年	作曲コースは履修対象外
GK0572	音楽史	4				通年	教職必修
GE0582	声楽(教職)	2				通年	教職必修
GE0580	邦楽サウンド論 1	4				通年	現代邦楽コースは履修対象外
GE0581	邦楽サウンド論 2		4			通年	現代邦楽コースは履修対象外
GE0583	学内リサイタル講座				2	通年	
GK0611	ジャズの歴史 1	2				半期	
GK0612	ジャズの歴史 2	2				半期	
GK0615	ピアノ演奏史	4				通年	
GK0635	管弦楽史		2			半期	
GK0636	オペラ史		2			半期	
GE0621	即興演奏講座(初級)	2				通年	
GE0626	即興演奏講座(中級)		2			通年	
GK0637	音楽美学			2		半期	
GK0638	現代音楽	2				半期	
GK0628	幼児音楽指導法(含リトミック)		4			通年	
GK0640	日本の伝統芸能と音楽	4				通年	
GK0639	諸民族の音楽	2				半期	
GK0711	ソルフェージュⅠ	2				半期	教職必修
GK0712	ソルフェージュⅡ	2				半期	教職必修
GK0713	ソルフェージュⅢ		2			半期	
GK0714	ソルフェージュⅣ		2			半期	
GK0725	ソルフェージュ研究Ⅰ			2		半期	
GK0726	ソルフェージュ研究Ⅱ			2		半期	
GK0800	音楽理論入門	2				半期	
GE0831	音楽分析基礎講座	2				半期	教職必修
GK0811	和声学Ⅰ	2				半期	教職必修
GK0812	和声学Ⅱ		2			半期	
GK0813	和声学Ⅲ		2			半期	
GK0814	和声学Ⅳ			2		半期	
GK0815	和声学Ⅴ			2		半期	
GE0826	作曲法・編曲法Ⅰ		2			半期	教職必修 ※音楽教育コースは履修対象外
GE0827	作曲法・編曲法Ⅱ		2			半期	※音楽教育コースは履修対象外
GE0846	対位法		4			通年	
GE0849	対位法研究			4		通年	
GK0851	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	2				半期	
GK0852	バロックの音楽史	2				半期	
GK0853	古典派の音楽史	2				半期	
GK0854	ロマン派、近・現代の音楽史	2				半期	
GE0891	教職合奏指導法			2		半期	教職必修
GE0900	指揮法Ⅰ			2		半期	教職必修
GE0901	指揮法Ⅱ			2		半期	
GJ0940	教職ピアノ実習 1－Ⅰ	1				半期	教職必修(ピアノコースは4・5のみ)(音楽教育／ジャズコースのピアノは2・3・4・5のみ) 教職課程履修者のみ履修可
GJ0941	教職ピアノ実習 1－Ⅱ	1				半期	
GJ0942	教職ピアノ実習 2		1			半期	
GJ0943	教職ピアノ実習 3		1			半期	
GJ0944	教職ピアノ実習 4			1		半期	
GJ0945	教職ピアノ実習 5			1		半期	
GL0946	教職ピアノ実習 6				1	半期	教職課程履修者のみ履修可(*)参照

(次ページに続く)

■ 専門選択科目（全コース共通）②

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GJ0971	副科実技(グループ) 1	1				半期	〈グループ・レッスンの場合〉 「副科実技(個人)」と同時に履修は不可 作曲コース・ミュージカルコース・バレエコース・声優 アニメソングコース・ダンスコース・音楽環境創造 コースは履修対象外 ピアノコース(指導者養成クラス、アドバンスト・ポ ピュラー・スタディークラス、アンサンブル・スタディ・ク ラス)は副科実技(グループ) 3－1・3－2・ 4－1・4－2 履修対象外 ピアノコース(ピアノ・プロフェッショナル・パフォー マンス・クラス)は履修対象外 ピアノコース(P－Com)は履修対象外
GJ0972	副科実技(グループ) 2－1		1			半期	
GJ0973	副科実技(グループ) 2－2		1			半期	
GJ0974	副科実技(グループ) 3－1			1		半期	
GJ0975	副科実技(グループ) 3－2			1		半期	
GJ1015	副科実技(グループ) 4－1				1	半期	
GJ1016	副科実技(グループ) 4－2				1	半期	〈個人レッスンの場合〉 「副科実技(グループ)」と同時に履修は不可 作曲コース・ミュージカルコース・バレエコース・声優 アニメソングコース・ダンスコース・音楽環境創造 コースは履修対象外 ピアノコース(指導者養成クラス、アドバンスト・ポ ピュラー・スタディークラス、アンサンブル・スタディ・ク ラス)は副科実技(個人) 3－1・3－2・4－ 1・4－2 履修対象外 ピアノコース(ピアノ・プロフェッショナル・パフォー マンス・クラス)は履修対象外 ピアノコース(P－Com)は履修対象外
GL0981	副科実技(個人) 1	1				半期	
GL0982	副科実技(個人) 2－1		1			半期	
GL0983	副科実技(個人) 2－2		1			半期	
GL0984	副科実技(個人) 3－1			1		半期	
GL0985	副科実技(個人) 3－2			1		半期	
GL1011	副科実技(個人) 4－1				1	半期	ミュージカルコースは履修対象外
GL1012	副科実技(個人) 4－2				1	半期	
GE2406	ミュージカル I－1	1				半期	ミュージカルコースは履修対象外
GE2407	ミュージカル I－2	1				半期	
GE6131	和声学研究			4		通年	作曲コースは履修対象外
GK6145	楽器と演奏論	4				通年	
GK6161	音楽分析総合講座		4			通年	
GK6267	日本音楽史	2				半期	
GK6268	音楽学特殊講義 1			2		半期	
GK6269	音楽学特殊講義 2			2		半期	
GK6270	東洋音楽史	2				半期	
GK6261	音楽鑑賞論	4				通年	
GE6641	ギター奏法演習	2				通年	
GE6644	和楽器演習(箏)	2				通年	教職選択必修 1 科目以上
GE6645	和楽器演習(三味線)	2				通年	
GE6646	尺八奏法			1		集中	教職選択必修 1 科目以上
GE6647	篠笛奏法			1		集中	
GE6648	箏奏法			1		集中	
GE6650	三味線奏法			1		集中	
GE6672	DTM基礎演習	1				半期	音楽・音響デザインコース・ロック&ポップスコース は履修対象外
GE6673	DTMプログラミング演習	2				通年	
GE6654	ジャズ実習	1				半期	ジャズコースは履修対象外
GE6685	邦楽ワークショップ 2		2			通年	現代邦楽・ワールドミュージックコースは履修対象外
GE6686	邦楽ワークショップ 3			2		通年	
GE6687	邦楽ワークショップ 4				2	通年	
GE6656	記譜法概論	4				通年	
GE6688	記譜法基礎	2				半期	
GE6750	楽式論 I		2			半期	
GE6751	楽式論 II		2			半期	
GE6752	古典邦楽作品研究 1		4			通年	現代邦楽コースは履修対象外
GE6753	古典邦楽作品研究 2		4			通年	
GE6754	邦楽実習(謡曲) 1	2				通年	教職選択必修 1 科目以上 音楽教育コースは履修対象外
GE6755	邦楽実習(謡曲) 2		2			通年	
GE6756	邦楽実習(謡曲) 3			2		通年	
GE6757	邦楽実習(謡曲) 4				2	通年	
GE6762	シンガーソングライター講座 1	2				通年	
GE6763	シンガーソングライター講座 2		2			通年	
GE6764	シンガーソングライター講座 3			2		通年	
GE6765	シンザーソングライター講座 4				2	通年	
GE6769	現代邦楽作品研究 1		4			通年	現代邦楽コースは履修対象外
GE6770	現代邦楽作品研究 2		4			通年	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 専門選択科目（全コース共通）③

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GE2721	邦楽実習(民謡) 1	2				通年	教職選択必修 1 科目以上 音楽教育コースは履修対象外
GE2722	邦楽実習(民謡) 2		2			通年	
GE2723	邦楽実習(民謡) 3			2		通年	
GE2724	邦楽実習(民謡) 4				2	通年	
GE2791	邦楽実習(笛) 1	2				通年	教職選択必修 1 科目以上 音楽教育コースは履修対象外
GE2792	邦楽実習(笛) 2		2			通年	
GE2793	邦楽実習(笛) 3			2		通年	
GE2794	邦楽実習(笛) 4				2	通年	
GE0331	日本伝統芸能研究 1	4				通年	現代邦楽コースは履修対象外
GE0332	日本伝統芸能研究 2		4			通年	
GE0333	日本伝統芸能研究 3			4		通年	
GE0334	日本伝統芸能研究 4				4	通年	
GE0335	日本の伝統的歌唱(民謡)	1				集中	教職選択必修 1 科目以上
GE0336	日本の伝統的歌唱(謡曲)	1				集中	
GE0337	日本の伝統的歌唱(長唄)	1				集中	

(*) 教職履修者のみ履修できますが、教職必修ではないので別途履修費を徴収します。
(注) 履修対象外となっているコースでも専門科目として設定されているものもあるので、専門科目欄も確認してください。

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 一般総合科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK7753	芸術史Ⅰ	2				半期	
GK7754	芸術史Ⅱ	2				半期	
GK7737	外国文学	2				半期	
GK7702	法学(日本国憲法)	2				半期	教職必修
GK7738	西洋文化史	2				半期	
GE7704	キャリアデザイン講座 1	2				半期	
GE7705	キャリアデザイン講座 2	2				半期	
GK7706	社会福祉論	2				半期	
GK7707	ビジネス講座(秘書検定対策)	2				半期	
GK7755	音響学Ⅰ	2				半期	
GK7756	音響学Ⅱ	2				半期	
GK7709	情報機器の操作		2			半期	教職必修
GE7710	英語 1－Ⅰ	2				半期	教職選択必修(P71 参照)
GE7711	英語 1－Ⅱ	2				半期	
GE7712	英語 2－Ⅰ		2			半期	
GE7713	英語 2－Ⅱ		2			半期	
GE7714	独語 1－Ⅰ	2				半期	教職選択必修(P71 参照)
GE7715	独語 1－Ⅱ	2				半期	
GE7716	独語 2－Ⅰ		2			半期	
GE7717	独語 2－Ⅱ		2			半期	
GE7718	仏語 1－Ⅰ	2				半期	教職選択必修(P71 参照)
GE7719	仏語 1－Ⅱ	2				半期	
GE7720	仏語 2－Ⅰ		2			半期	
GE7721	仏語 2－Ⅱ		2			半期	
GE7722	伊語 1－Ⅰ	2				半期	教職選択必修(P71 参照)
GE7723	伊語 1－Ⅱ	2				半期	
GE7724	伊語 2－Ⅰ		2			半期	
GE7725	伊語 2－Ⅱ		2			半期	
GK7726	保健体育	2				半期	教職必修
GJ7727	体育実技(集中)	1				集中	教職必修
GK7757	経済学Ⅰ	2				半期	
GK7758	経済学Ⅱ	2				半期	
GK7729	著作権法	2				半期	
GK7759	ジェンダーⅠ	2				半期	
GK7760	ジェンダーⅡ	2				半期	
GK7761	心理学Ⅰ	2				半期	
GK7762	心理学Ⅱ	2				半期	
GK7731	読解力養成講座 1	2				半期	
GK7732	読解力養成講座 2	2				半期	
GK7733	文章力養成講座 1	2				半期	
GK7734	文章力養成講座 2	2				半期	
GK7735	分析力養成講座 1	2				半期	
GK7736	分析力養成講座 2	2				半期	
GK7739	ポピュラー芸術論	2				半期	
GK7740	テクノロジーと芸術	2				半期	
GK7741	芸術と社会	2				半期	
GK7742	音響工学芸術論	2				半期	
GK7743	プロデュース学	2				半期	
GK7744	アートマネジメント入門	2				半期	
GK7745	舞踊史 1	2				半期	
GK7746	舞踊史 2	2				半期	
GK7747	舞踊史 3	2				半期	
GK7748	舞踊史 4	2				半期	
GK7749	運動生理学	2				半期	
GK7763	栄養学	2				半期	
GK7751	解剖学	2				半期	
GK7752	動作学	2				半期	

(次ページに続く)

授業科目欄の単位数の記載のある年次は履修開始年次を示します。
(単位数の記載がある年次以降も履修可能です)

■ 一般総合科目

コード	授 業 科 目	単 位				授業 期間	備 考
		1年次	2年次	3年次	4年次		
GK7764	映像学 1	2				半期	
GK7765	映像学 2	2				半期	
GE0121	DTV演習	2				通年	
GE0122	DTP演習	2				通年	
GK7766	建築と芸術Ⅰ	2				半期	
GK7767	建築と芸術Ⅱ	2				半期	
GK7768	AIと芸術Ⅰ	2				半期	
GK7769	AIと芸術Ⅱ	2				半期	
GK7770	作詩基礎研究 1	2				半期	
GK7771	作詩基礎研究 2	2				半期	
GE0111	演奏会実習 1	2				通年	ジャズ・ミュージカルコースは一部履修対象外 バレエコース・声優アニメソング・ダンスコースは履修対象外
GE0112	演奏会実習 2		2			通年	ジャズ・ミュージカルコースは一部履修対象外 バレエコース・声優アニメソング・ダンスコースは履修対象外
GE0113	演奏会実習 3			2		通年	ジャズ・ミュージカルコースは一部履修対象外 バレエコース・声優アニメソング・ダンスコースは履修対象外
GE0114	演奏会実習 4				2	通年	ジャズ・ミュージカルコースは一部履修対象外 バレエコース・声優アニメソング・ダンスコースは履修対象外
GE0661	応用演奏会実習 1－1	1					
GE0662	応用演奏会実習 1－2	1					
GE0663	応用演奏会実習 1－3	1					
GE0664	応用演奏会実習 1－4	1					
GE0671	応用演奏会実習 2－1		1				
GE0672	応用演奏会実習 2－2		1				
GE0673	応用演奏会実習 2－3		1				
GE0674	応用演奏会実習 2－4		1				
GE0681	応用演奏会実習 3－1			1			
GE0682	応用演奏会実習 3－2			1			
GE0683	応用演奏会実習 3－3			1			
GE0684	応用演奏会実習 3－4			1			
GE0691	応用演奏会実習 4－1				1		
GE0692	応用演奏会実習 4－2				1		
GE0693	応用演奏会実習 4－3				1		
GE0694	応用演奏会実習 4－4				1		
GJ7772	インターンシップ 1		2				
GJ7773	インターンシップ 2			2			

(注)履修対象外となっているコースでも専門科目として設定されているものもあるので、専門科目欄も確認してください。

単位数に（ ）のついているものは選択科目です。

■ 作曲専攻(作曲)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL2012	創作研究	3	通年	
	HL2022	理論研究	3	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 門 選 修	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

Ⅱ-6 音楽専攻科

- 音楽学部を卒業し、さらに深く、かつ精粹を極めようと希望する方のため、「音楽専攻科」があります。
- 音楽専攻科には、「作曲専攻」「器楽専攻」及び「声楽専攻」の3つの専攻があります。
- 専攻科の在学の期間は1年間で、これを修了するためには必修・選択合わせて 30 単位以上修得しなければなりません。
- 授業科目は次頁の通りで、単位数に（ ）のついている科目は、選択科目を表します。
- 専攻科の学生は以下の科目に加えて、音楽学部が開講されている講座授業科目について専門選択科目（各コース、全コース共通）を履修することができます。

音 楽 専 攻 科	専 攻		専門実技
	専 作 攻 曲	作 曲	創作研究 30分 理論研究 30分
	器 楽 専 攻	ピ ア ノ	専門研究 60分
		オ ル ガ ン	専門研究 60分
		管 楽 器	専門研究 60分
		弦 楽 器	専門研究 60分
		打 楽 器	専門研究 60分
		電 子 オ ル ガ ン	専門研究 60分
	声 楽 専 攻	声 楽	専門研究 60分

* 専門研究の履修においては、専門実技を一つ履修する場合（レッスン時間は 60 分）と二つ履修する場合（主科と主科以外レッスン時間は各 30 分）といずれかを選択することができます。

単位数に()のついてるものは選択科目です。

■ 器楽専攻(ピアノ)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究B－1	〔 3 〕	通年	
	HL3029	専門研究B－2	〔 3 〕	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 択 門	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

単位数に()のついてるものは選択科目です。

■ 器楽専攻(オルガン)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究B－1	〔 3 〕	通年	
	HL3029	専門研究B－2	〔 3 〕	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 択 門	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

単位数に()のついているものは選択科目です。

■ 器楽専攻(管楽器)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究Bー1	[3]	通年	
	HL3029	専門研究Bー2	[3]	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 択 門	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

単位数に()のついているものは選択科目です。

■ 器楽専攻(弦楽器)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究Bー1	[3]	通年	
	HL3029	専門研究Bー2	[3]	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 択 門	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

単位数に()のついているものは選択科目です。

■ 器楽専攻(打楽器)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究B－1	〔 3 〕	通年	
	HL3029	専門研究B－2	〔 3 〕	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 門 択	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

単位数に()のついているものは選択科目です。

■ 器楽専攻(電子オルガン)

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究B－1	〔 3 〕	通年	
	HL3029	専門研究B－2	〔 3 〕	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 門 択	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

単位数に()のついているものは選択科目です。

■ 声楽専攻

区 分	科目コード	授 業 科 目	単 位	授業期間	備 考
専 門 必 修	HL3016	専門研究A	6	通年	
	HL3028	専門研究B－1	〔 3 〕	通年	
	HL3029	専門研究B－2	〔 3 〕	通年	
	HE2070	修了研究	4	通年	
選 専 択 門	HK1731	実用音楽講座	(2)	半期	
	HK1821	アンサンブル	(2)	半期	
共 通 選 択	HE1813	コンチェルト	(2)	通年	
	HE1751	演奏会実習	(2)	通年	
	HK1730	音楽史	(4)	通年	
	HK1710	邦楽サウンド論	(2)	通年	
	HJ1711	海外研修	(2)	集中	
	HK1712	ジャズの歴史1	(2)	半期	
	HK1713	ジャズの歴史2	(2)	半期	
	HK1714	ピアノ演奏史	(4)	通年	
	HK1715	オペラ史	(2)	半期	
	HK1716	日本の伝統芸能と音楽	(4)	通年	
	HK1717	諸民族の音楽	(2)	半期	
	HK1718	古代、中世、ルネッサンスの音楽史	(2)	半期	
	HK1719	バロックの音楽史	(2)	半期	
	HK1721	古典派の音楽史	(2)	半期	
	HK1722	ロマン派、近・現代の音楽史	(2)	半期	
	HK1723	日本音楽史	(2)	半期	
	HK1724	東洋音楽史	(2)	半期	
	HE1760	専攻科特殊研究1	(4)		
	HE1770	専攻科特殊研究2	(2)		
	HE1780	専攻科特殊研究3	(2)		
	HE1790	専攻科特殊研究4	(1)		
	HE1791	専攻科特殊研究5	(1)		

Ⅲ
履修登録

Ⅲ－1
履修とは

- (1) 大学では、高校までのように学年やクラスによって定められた時間割というものはありません。あなたは、各授業年度の開始に先立って、その年度に学修したい授業科目を決定し、ポータルにて履修希望を登録していきます。
- (2) その結果、授業の定員など必要条件を満たした場合、あなたの履修希望が正式にあなたの時間割として認められることになります。この一連の作業を履修登録といいます。
- (3) 履修登録が完了すれば、あなたはその授業科目を学修することができ、試験を受けて、合格すれば単位を修得することが可能となります。
- (4) このように大学の授業を履修登録し、正式に学修することを履修といいます。

Ⅲ－2
履修登録の意味

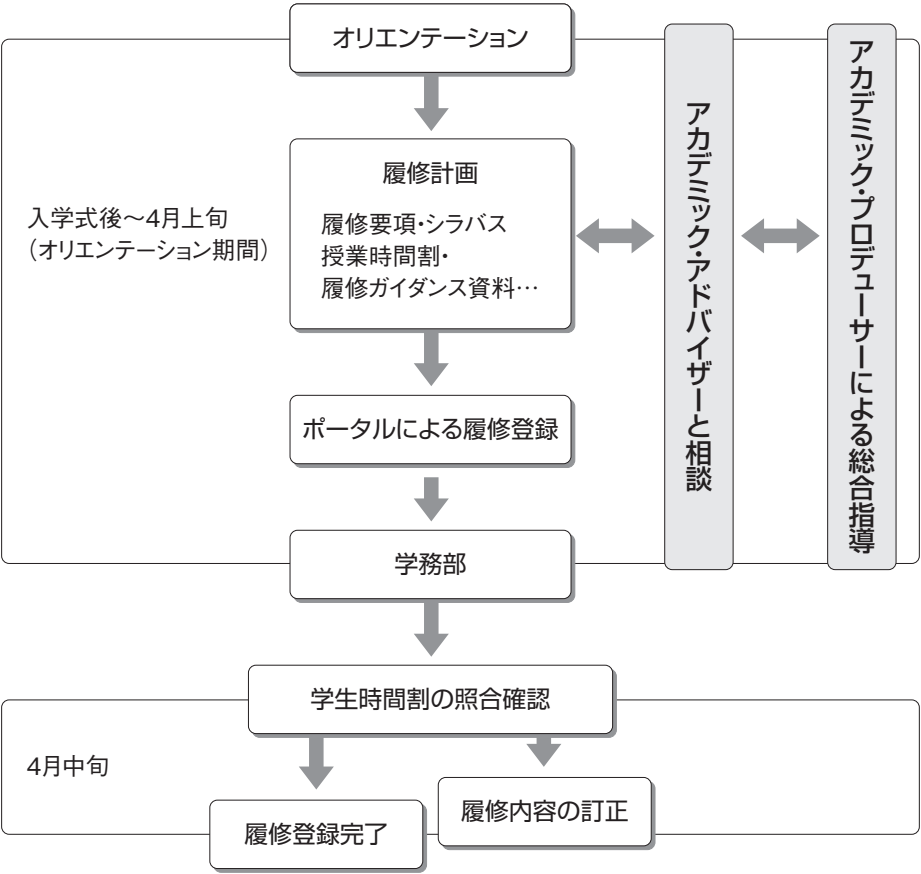
- (1) 履修登録は、上記の通り、大学が作成した授業計画・時間割などに基づいて、その授業年度に履修する科目を学生自身が大学に届出し、それが認められて、履修科目として登録されるまでの一連の手続です。
- (2) 履修登録が完了することで、あなたは自分で届出した授業科目の履修が認められます。ただし、それはあなたの届出した授業科目が「正しく登録されている」という意味であって、必ずしもあなたが履修を希望している科目が登録されているということではありません。もし、あなたの届出した授業科目の科目コードやクラス指定などの誤りがあれば、あなたの希望とは全く別の科目を登録してしまうことも起こりえます。従って、履修登録では、定められた期間内に履修届を提出するだけでなく、履修届が希望通り登録されたかどうか、あなたの「学生時間割表」をよく確認して、誤りがあれば速やかに訂正を届出してください。

Ⅲ-3 履修登録手続の概要

履修登録手続は、新入生と在學生で若干異なっています。ここでは、新入生の履修登録手続を中心にその概要を見てみましょう。

●新入生の履修登録

履修にあたっては、アカデミック・アドバイザーの先生とよく相談の上、しっかりした計画を立てましょう。



本学では、在學生（翌年度に2、3、4年生となる学生）の履修登録手続が前年度中から始まります。これは、各学期の第1回目授業から有効に授業を実施するためのシステムですが、主なポイントは、①合奏授業や室内楽研究、演奏会実習等の履修希望登録が優先される、②実技科目（レッスン）は原則合格持ち上がりとなる（但し、一部科目については履修登録手続が必要）、③他の科目の履修登録は3月中旬頃に実施される、などの点です。

Ⅲ-4 アカデミック・プロデューサー

アカデミック・プロデューサー制度は、本学に入学する学生を、「その学生の将来の希望に合わせて、入学前から学生生活、さらには卒業後の進路選択、および卒業後数年間の社会生活まで、一貫して指導・支援する」体制です。アカデミック・プロデューサーは、人生におけるキャリア形成の入り口となる大学教育において、学生の「キャリア形成」を支援します。また、大学生活において学生が直面する様々な問題について、学生がその解決策を探す過程を支援し、学生を卒業まで導くことを目的とします。

Ⅲ-5 アカデミック・アドバイザー

アカデミック・アドバイザーとは、あなたに学問的な助言をしてくださる先生方です。本学に入学すると一人一人の学生にアカデミック・アドバイザーが付いて、授業の履修方法や時間割の組み方、年間の学修計画の立て方などいろいろなアドバイスを受けることができます。アドバイザーの意見をよく聞いて、あなたに合った時間割を作りましょう。

また、アカデミック・アドバイザーは、あなたにとって専門分野の大先輩になりますので、学修計画の相談を通じて、これから学びたいこと、将来の夢、学生生活上の悩みなど様々な相談に乗ってもらえることでしょう。

Ⅲ-6 アカデミック・アドバイジングの概要(新入生の場合)

- (1) 履修相談：オリエンテーション期間中、1年生を対象にして、時間割の立て方、履修登録方法などについてアドバイザーの先生に個別に相談することができます。
- (2) 学修相談：前期授業が終了する前に、各自の出席状況などを見ながら学修状況についてアドバイスを受けられます。
- (3) 新年度への履修相談：3月中旬、1年次の成績、修得単位数などを踏まえ、新2年生に向けての履修相談・履修登録が実施されます。
- (4) 個別相談：この他にも学業についての疑問や心配事があれば、その都度アカデミック・アドバイザーに相談することもできます。

Ⅲ-7 履修計画上の注意事項

- ここで履修計画をする上での注意事項をまとめておきましょう。
- (1) 本学では、必修科目の数を抑えて、できるだけみなさんの希望にそった学修ができるように選択科目をたくさん用意しています。従って、履修計画を立てる際には、ただ単に卒業要件を満たすことを考えるのではなく、自分の研究や目的にあった授業科目を選び、自分自身の中で体系化してゆくことが必要です。
 - (2) 一方、大学では授業時間以外の自習（予習や復習）に相当な時間をかけることになりますので、各年次に、登録単位数の上限を定めています。詳細については、Ⅲ-8 履修登録単位数の上限（P59）を参照してください。
 - (3) 履修計画に当たっては、まずアカデミック・アドバイザーとよく相談して、あなたの関心や将来設計にあった計画で、かつ、4 年間で卒業できるようにしっかりした計画を立てましょう。
 - (4) 卒業学年では、まず卒業要件を満たすことができるか確認した上で、4 年間の大学生活の総決算となるような履修計画としましょう。
 - (5) 授業科目の中には、指定された学年でなければ履修できない科目があります。
 - (6) 同一履修時間に履修登録できる科目は 1 科目だけです。
 - (7) 一度単位を修得した授業科目については、再度履修できません。
 - (8) 履修登録ができていない授業科目を受講したり、試験を受けたりすることはできません。当然ながら単位も修得できませんので、自分の履修登録内容はしっかりと確認してください。
 - (9) 他コースの「専門選択科目（各コース）」は履修することができません。
 - (10) 授業科目には、主に「半期科目」と「通年科目」があります。「半期科目」は前期または後期の半年間の履修により単位を修得することができます。「通年科目」は 1 年間の履修により単位を修得することができます。
 - (11) この他の授業科目には、短期間に集中して開講される「集中科目」があります。
 - (12) 授業科目名の後ろに付記されている数字は、算用数字（1、2、3、…）が授業科目の内容の違いを表し、ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、…）は授業科目の難易度（「グレード」といいます）を表します。ローマ数字のグレードを付された科目については、若い数字から順に合格しないと、次のグレードに進むことができません。

Ⅲ-8 履修登録単位数の上限

- (1) 本学では、単位制度を実質化（1 単位当たり必要な 45 時間の学修時間を確保）し、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身につけてもらうことを目的として、年間履修登録単位数の上限を定めています。
- (2) 1 年次の年間履修登録単位数の上限は 48 単位とします。
- (3) きめ細かい履修指導・学修支援を実施するため、2 年次以降は前年度の GPA に基づき年間履修登録単位数の上限を下表のとおりとします。（GPA についてはⅦ-2 GPA（P80）を参照してください。）

前年度のGPA	履修登録単位数の上限
2.0以上	48単位
1.5以上2.0未満	44単位
1.0以上1.5未満	40単位
1.0未満	36単位

- (4) 卒業要件に算入されない科目（「教科に関する専門的事項」を除く教科及び教職に関する科目、自由科目等）は、上限単位数に含まません。

Ⅲ-9 履修登録内容の確認

- (1) 学生時間割表にて、自分が届け出た履修科目、クラス、履修時限などが正しく登録されているかを必ず確認してください。（履修登録が誤っていれば、いくら授業に出席しても単位が取れませんので注意しましょう。）
- (2) 特に卒業学年では卒業単位が不足するような事態が起きないように注意してください。

Ⅲ-10 履修登録の訂正・変更

- (1) 「学生時間割表」を確認して、履修内容に誤りがある場合、あるいは、履修内容を訂正・変更したい場合は、指定された期間内に学務部に届け出て履修登録の訂正・変更の手続きをしてください。
- (2) 選択授業科目では、履修登録者数が 5 名未満である場合は閉講となります。この場合、この科目を登録していた学生は履修登録の変更をする必要があります。

Ⅲ-11 履修登録の取消

- (1) 履修登録をして授業を受けてみたものの、授業内容が勉強したいものと違っていった場合や、授業についていけるだけの知識や技術が不足していた場合などには履修登録の取り消しができます。履修取消には、所定の手続きによる申請が必要です。
- (2) 履修を取り消した科目は、その学期において履修を復活させることはできません。また、履修を取り消した科目に替わる科目の追加登録はできません。

- (3) 所定の手続きによる申請が認められた結果、履修を取り消した科目は、GPA（GPAについてはⅣ-⑫ GPA（P80）を参照してください。）の算出の対象外となります。

Ⅲ-12 実技レッスン科目の履修登録

(1) 実技レッスン科目の区分

- ①実技レッスン科目は、「専門（主科）実技」「副科実技」「教職ピアノ実習」に大別されます。このうち「専門実技」は全コースの必修科目であり、全学生は専攻コースで指定された専門実技の単位を全て修得する必要があります。
- ②「副科実技」は一部のコース（音楽教育、声優アニメソング）を除けば、選択科目であり、「専門選択科目（各コース）」（B-2）は指定されたコースの学生が、「専門選択科目（全コース共通）」（B-4）は全コース（ただし一部コースを除く）の学生が希望すれば履修できます。
- ③「教職ピアノ実習」は、教職課程履修者のために開講された科目ですので、履修をするには別途教職課程履修費が必要です。

○実技レッスンの履修区分

レッスン科目	履修区分		主な科目	コース
専門（主科）実技	専門必修	A	（各奏法研究など）	全コース
副科実技	専門必修	B-1	ピアノ実習	音楽教育
			声楽実習	音楽教育
			ヴォイスアーティスト技法研究	声優アニメソング
	専門選択（各コース）	B-2	音楽実技実習1～4	作曲
			チェンバロ実習1、2	ピアノ
			ヴィオラ実習1-1～4-2	弦楽器
			ピアノ実技1～4	電子オルガン
			ピアノ実技	声楽
			ヴォイストレーニング1～4	ミュージカル
			音楽実技実習2～4	音楽教育
	B-3		ジャズ特別奏法研究1～4-2	ジャズ
			副科実技（R&P）1～4-2	ロック&ポップス
	専門選択（全コース共通）	B-4	副科実技（グループ）	作曲コース・ミュージカルコース・バレエコース・声優アニメソングコース・ダンスコース・音楽環境創造コースは履修対象外 ピアノコース（指導者養成クラス、アドバンス・ポピュラー・スタディークラス、アンサンブル・スタディークラス）は副科実技（個人）3～1・3～2・4～1・4～2履修対象外 ピアノコース（ピアノ・プロフェッショナル・パフォーマンス・クラス）は履修対象外 P-Comiは履修対象外
			副科実技（個人）	
教職ピアノ実習	教職選択	K-1	教職ピアノ1-Ⅰ～1-Ⅱ	教職課程履修者
			教職ピアノ実習6	
	教職必修	K-2	教職ピアノ実習2～5	

(2) 新入生の場合

- ①専門実技科目（A）および副科実技専門必修（B-1）は、専攻コースで指定された専門必修のレッスン科目です。専門実技の履修登録は、あなたが入学手続きの際に提出した「レッスン登録票」に従って行われます。レッスン担当教員およびレッスンガイダンス実施方法等については、入学後に発表します。
- ②副科実技科目
- ア 専門選択科目（各コース）（B-2）については、入学手続きの際に提出した「レッスン登録票」あるいは入学直後の指定された期間内にポータルにてレッスン登録を行い、履修登録します。レッスン担当教員およびレッスンガイダンス実施方法等は決定次第、発表します。
- イ 専門選択科目（全コース共通）（B-4）の副科実技 1（個人またはグループ）、（B-3）ジャズ特別奏法研究 1、副科実技（R&P）1 は 1 年の後期より開講されます。前期末（7 月）にポータルにてレッスン登録を行います。
- ③教職ピアノ実習 1-Ⅰ～1-Ⅱ（K-1）
- ア 教職ピアノ実習 1-Ⅰ～1-Ⅱは、教職課程の必修科目である教職ピアノ実習 2 の前提科目（ピアノコース、音楽教育コース、ジャズコースのピアノを除く）です。1 年次終了時まで、教職ピアノ実習 1-Ⅱの単位を修得していないと、2 年次前期に教職ピアノ実習 2 を履修できません。レッスンはグループで行います。教職課程履修者には、教職ピアノ実習 1-Ⅰのクラス分け（担当教員及び時間割）が発表されます。単位を修得すると、次期の科目は自動的に登録されます。
- イ 単位を修得できなかった場合は、翌年度も同じ科目を履修することになります。

(3) 在学生（翌年度に 2，3，4 年生となる学生）の場合

- ①専門実技科目
- ア 専門必修科目（A）
- a 定期実技試験に合格すると、次期（ないしは次年度）のグレードが上がります。この場合、原則として、次期レッスンは現在の指導教員が引き続き担当となりますので、レッスン登録を行う必要はありません。
- b 定期実技試験に不合格となった場合は、次期（ないしは次年度）もグレードは据え置きとなり、原則として、担当教員も変わりません。この場合もレッスン登録を行うは必要はありません。
- ②副科実技科目
- ア 専門選択科目（各コース）（B-2）
- a 「音楽実技実習」を希望する場合は、学年末（12 月～1 月）にポータルにてレッスン登録を行う必要があります。

- b 次年度に「チェンバロ実習」を希望する場合は、現在履修している場合にも、学年末（12月～1月）にポータルにてレッスン登録を行う必要があります。「チェンバロ実習」を継続して履修する場合にも、レッスン登録を行う必要があります。
 - c 次年度に「ピアノ実技1～4」を希望する場合は、学年末（12月～1月）にポータルにてレッスン登録を行う必要があります。また、「ヴィオラ実習」を希望する場合は、半年毎（前期末（7月）と学年末（12月～1月））にポータルにてレッスン登録を行う必要があります。
 - d 「ジャズ特別奏法研究」、「副科実技（R&P）」は半年毎（前期末（7月）と学年末（12月～1月））にポータルにてレッスン登録を行う必要があります。但し、申込みを行った場合にも、前の期の「ジャズ特別奏法研究」、「副科実技（R&P）」に合格し、半期15回のレッスン回数の2/3以上の出席を満たした場合のみ履修することができます。上記条件を満たさない場合、また期の中途での履修取消があった場合についても、次期「ジャズ特別奏法研究」、「副科実技（R&P）」を履修することはできません。但し、次期「ジャズ特別奏法研究」、「副科実技（R&P）」の履修はできませんが、次々期以降の履修は、学生が登録申請を行うことにより可能となります。
- イ 専門選択科目（全コース共通）（B-4）
- a 「副科実技1～4-2」は半年毎（前期末（7月）と学年末（12月～1月））にポータルにてレッスン登録を行う必要があります。但し、申込みを行った場合にも、前の期の「副科実技1～4-1」に合格し、半期15回のレッスン回数の2/3以上の出席を満たした場合のみ履修することができます。上記条件を満たさない場合、また期の中途での履修取消があった場合についても、次期「副科実技1～4-1」を履修することはできません。但し、次期「副科実技1～4-1」の履修はできませんが、次々期以降の履修は、学生が登録申請を行うことにより可能となります。
 - b 「副科実技」は原則として再度履修することはできません。
- ③教職ピアノ実習2～5（K-2）
- ア 教職ピアノ実習2～5は教職課程履修者の必修科目（ピアノコース、ジャズコースのピアノは教職ピアノ実習4・5のみ）です。レッスンはグループで行います。単位を修得すると、次期の科目は自動的に登録されます。
- イ 単位を修得できなかった場合は、翌年度も同じ科目を履修することになります。
- ④教職ピアノ実習6（K-1）
- ア 教職ピアノ実習6は、教育実習のための直前個人レッスンになっています。従って、4年生で教育実習に参加予定の学生のみが希望によって履修できます。履修希望者は、別途費用を添えて、「レッスン登録票」の提出が必要です。
- （4）各自のレッスン時間については、専門実技科目、副科実技科目ともに担当教員のレッスンガイダンスを受けて、決定してください。

- （5）副科実技において、ポータルのレッスン登録時に、レッスン科目を変更、楽器を変更して登録することができます。ただし、期中の変更はできません。
- （6）教職ピアノ実習を除く全ての実技科目において、レッスン担当教員の変更を希望することができます。
レッスン担当教員の変更を希望する場合は、所定の用紙で学務部へ届け出てください。
なお、期中のレッスン担当教員の変更は、原則として月毎になりますので、届出月の翌月からの変更になります。
- （7）レッスン時間の変更
専門実技科目、副科実技科目いずれについても、やむを得ない事情でレッスンの曜日、時間を変更したいと希望する場合は、レッスン担当教員と相談の上、担当教員から学務部へ届出する必要があります。

再履修

履修科目の成績が「D」（不合格）以下（D, E, F）の評価を受けた場合、一部の例外を除いて、その授業科目を再度履修することができます。

国・公・私立を問わず幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の教員になるためには、教育職員免許状（以下「教員免許状」）を取得しなければなりません。教員免許状を取得するには、「教育職員免許法」（以下「免許法」）に基づいて教職課程を履修し、所定の単位を修得することが必要です。

卒業時に教員免許状の授与を受けるためには、1 年次から順次所定の科目を履修し、必要な単位を修得しなければなりません。本項では、教職課程で履修すべき科目について基本的な事項を取纏めてあります。（なお、教職課程を履修する学生は『教職課程履修ハンドブック』を併せて、熟読してください。）

IV-1 本学で取得できる教員免許状

本学では次の免許状を取得することができます。

免許状の種類	教 科	備 考
中学校教諭一種免許状	音 楽	
高等学校教諭一種免許状	音 楽	
中学校教諭専修免許状	音 楽	ただし、大学院または専攻科
高等学校教諭専修免許状	音 楽	ただし、大学院または専攻科

IV-2 教員免許状取得のための最低修得単位数

免許法上で規定されている最低修得単位数は、次表のとおりです。

免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数
		教科及び教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	59
高等学校教諭一種免許状		59
中学校教諭専修免許状 ^{※1}	修士の学位を有すること ^{※2}	83
高等学校教諭専修免許状 ^{※1}		83

※1 専修免許状を取得するためには「中学校教諭一種免許状」及び「高等学校教諭一種免許状」を取得しているか、免許取得に必要な単位を修得していなければなりません。

※2 「修士の学位を有すること」には、大学の専攻科に 1 年以上在学し、30 単位以上修得した場合を含みます。

教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	中学校		高等学校	
		専修	一種	専修	一種
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28	28	24	24
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	10	10
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	10	8	8
	総合的な学習の時間の指導法				
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				
	生徒指導の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	5	5	3	3
	教育実習				
大学が独自に設定する科目	教職実践演習	2	2	2	2
		28	4	36	12
合 計		83	59	83	59

IV 3 教職必修科目一覧

■ 音楽教育コースを除く

免許法施行規則に定める科目等		左記に対応する本学の科目				卒業単位に 含まれる 科目	備考
教科及び教職に 関する科目	右項の各科目に含めることが 必要な事項	授業科目	単位数	計	履修 年次		
教科及び教科の 指導法に関する 科目	教科に関する専門的事項	(別表参照)				○	
	各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)	音楽科教育法Ⅰ	2	8	2		
		音楽科教育法Ⅱ	2		2		
		音楽科教育法Ⅲ	2		3		
		音楽科教育法Ⅳ	2		3		
教育の基礎的理 解に関する科目	教育の理念並びに教育に関す る歴史及び思想	教育原理	2	12	1		
	教職の意義及び教員の役割・ 職務内容(チーム学校運営へ の対応を含む。)	教職論	2		1		
	教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対 応を含む。)	教育の制度と経営	2		3		
	幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	教育心理学	2		2		
	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2		2		
	教育課程の意義及び編成の 方法(カリキュラム・マネジメン トを含む。)	教育課程論	2		2		
道徳、総合的な 学習の時間等の 指導法及び生徒 指導、教育相談 等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳指導法	2	10	2		
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的 な学習の時間の指導法	2		2		
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術(情報機 器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論	2		3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2		3		
	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法						
	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)	教育相談の方法論	2		2		
教育実践に関す る科目	教育実習	教育実習法(事前事後の指導を含む)	1	中5 高3	4		
		教育実習Ⅰ	2		4		中
		教育実習Ⅱ	2		4		中・高
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	2	4		
大学が独自に設 定する科目							
		合 計	中59・高59				

■ 音楽教育コース

免許法施行規則に定める科目等		左記に対応する本学の科目				卒業単位に	備考
教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	計	履修年次	含まれる科目	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	(別表参照)				○	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	音楽科教育法Ⅰ	2	8	2	○	
		音楽科教育法Ⅱ	2		2	○	
		音楽科教育法Ⅲ	2		3	○	
		音楽科教育法Ⅳ	2		3	○	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	12	1		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2		1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営	2		3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2		2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2		2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳指導法	2	10	2		
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2		
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論	2		3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	2		3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習法(事前事後の指導を含む)	1	中5 高3	4		
		教育実習Ⅰ	2		4		中
		教育実習Ⅱ	2		4		中・高
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	2	4		
大学が独自に設定する科目							
		合 計			中59・高59		

単位数に〔 〕のついているものは、いずれか1科目を履修すること。

■ 教科に関する専門的事項(ピアノコース・ジャズコース〈ピアノ〉・音楽教育コースを除く)

免許法施行規則に定める科目等	左記に対応する開設授業科目			履修上の注意
教科に関する専門的事項に関する科目	授 業 科 目	期間	単位数	
Ⅰ ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	半期	2	
	ソルフェージュⅡ	半期	2	
Ⅱ 声楽 (合唱及び日本の 伝統的な歌唱を含む。)	声楽(教職)	通年	2	1科目以上履修
	邦楽実習(民謡)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)4	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)4	通年	〔2〕	
	日本の伝統的歌唱(民謡)	集中	〔1〕	
	日本の伝統的歌唱(謡曲)	集中	〔1〕	
	日本の伝統的歌唱(長唄)	集中	〔1〕	
	教職ピアノ実習1ーⅠ	半期	1	
	教職ピアノ実習1ーⅡ	半期	1	
	教職ピアノ実習2	半期	1	
Ⅲ 器楽 (合奏及び伴奏並びに 和楽器を含む。)	教職ピアノ実習3	半期	1	1科目以上履修
	教職ピアノ実習4	半期	1	
	教職ピアノ実習5	半期	1	
	教職合奏指導法	半期	2	
	和楽器演習(箏)	通年	〔2〕	
	和楽器演習(三味線)	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)4	通年	〔2〕	
	尺八奏法	集中	〔1〕	
	篠笛奏法	集中	〔1〕	
	箏奏法	集中	〔1〕	
	三味線奏法	集中	〔1〕	
Ⅳ 指揮法	指揮法Ⅰ	半期	2	
Ⅴ 音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。)及び音楽史 (日本の伝統音楽及び 諸民族の音楽を含む。)	音楽分析基礎講座	半期	2	
	和声学Ⅰ	半期	2	
	作曲法・編曲法Ⅰ	半期	2	
	音楽史	通年	4	
最低修得単位数			28	

単位数に〔 〕のついているものは、いずれか1科目を履修すること。

■ 教科に関する専門的事項(ピアノコース)

免許法施行規則に定める科目等	左記に対応する開設授業科目			履修上の注意
教科に関する専門的事項に関する科目	授 業 科 目	期間	単位数	
Ⅰ ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	半期	2	
	ソルフェージュⅡ	半期	2	
Ⅱ 声楽 (合唱及び日本の 伝統的な歌唱を含む。)	声楽(教職)	通年	2	1科目以上履修
	邦楽実習(民謡)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)4	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)4	通年	〔2〕	
	日本の伝統的歌唱(民謡)	集中	〔1〕	
	日本の伝統的歌唱(謡曲)	集中	〔1〕	
	日本の伝統的歌唱(長唄)	集中	〔1〕	
	ピアノ奏法研究Ⅰ	通年	〔6〕	1科目以上履修
	ピアノ奏法研究Ⅱ	通年	〔6〕	
	ピアノ奏法研究Ⅲ	通年	〔6〕	
	ピアノ奏法研究Ⅳ	通年	〔6〕	
Ⅲ 器楽 (合奏及び伴奏並びに 和楽器を含む。)	教職ピアノ実習4	半期	1	
	教職ピアノ実習5	半期	1	
	教職合奏指導法	半期	2	1科目以上履修
	和楽器演習(箏)	通年	〔2〕	
	和楽器演習(三味線)	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)4	通年	〔2〕	
	尺八奏法	集中	〔1〕	
	篠笛奏法	集中	〔1〕	
	箏奏法	集中	〔1〕	
	三味線奏法	集中	〔1〕	
Ⅳ 指揮法	指揮法Ⅰ	半期	2	
Ⅴ 音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。)及び音楽史 (日本の伝統音楽及び 諸民族の音楽を含む。)	音楽分析基礎講座	半期	2	
	和声学Ⅰ	半期	2	
	作曲法・編曲法Ⅰ	半期	2	
	音楽史	通年	4	
最低修得単位数			30	

単位数に〔 〕のついているものは、いずれか1科目を履修すること。

■ 教科に関する専門的事項(ジャズコース〈ピアノ〉)・(音楽教育コース)

免許法施行規則に定める科目等	左記に対応する開設授業科目			履修上の注意
	授 業 科 目	期間	単位数	
教科に関する専門的事項に関する科目				
Ⅰ ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	半期	2	
	ソルフェージュⅡ	半期	2	
Ⅱ 声楽 (合唱及び日本の 伝統的な歌唱を含む。)	声楽(教職)	通年	2	1科目以上履修
	邦楽実習(民謡)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(民謡)4	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(謡曲)4	通年	〔2〕	
	日本の伝統的歌唱(民謡)	集中	〔1〕	
	日本の伝統的歌唱(謡曲)	集中	〔1〕	
	日本の伝統的歌唱(長唄)	集中	〔1〕	
	教職ピアノ実習2	半期	1	
	教職ピアノ実習3	半期	1	
	教職ピアノ実習4	半期	1	
	教職ピアノ実習5	半期	1	
	教職合奏指導法	半期	2	
Ⅲ 器楽 (合奏及び伴奏並びに 和楽器を含む。)	和楽器演習(箏)	通年	〔2〕	1科目以上履修
	和楽器演習(三味線)	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)1	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)2	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)3	通年	〔2〕	
	邦楽実習(笛)4	通年	〔2〕	
	尺八奏法	集中	〔1〕	
	篠笛奏法	集中	〔1〕	
	箏奏法	集中	〔1〕	
	三味線奏法	集中	〔1〕	
Ⅳ 指揮法	指揮法Ⅰ	半期	2	
Ⅴ 音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。)及び音楽史 (日本の伝統音楽及び 諸民族の音楽を含む。)	音楽分析基礎講座	半期	2	
	和声学Ⅰ	半期	2	
	作曲法・編曲法Ⅰ	半期	2	
	音楽史	通年	4	
最低修得単位数			26	

【その他の教職必修科目：教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に 定める科目等	左記に対応する本学の科目			履修上の注意
	授 業 科 目	単位数	履修年次	
日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	1～4	
体 育	保健体育	2	1～4	
	体育実技(集中)	1	1～4	
外国語コミュニケーション	英語1－Ⅰ	[2]	1～4	英語、独語、仏語、 伊語の科目群から 1科目群以上履修
	英語1－Ⅱ	[2]		
	独語1－Ⅰ	[2]	1～4	
	独語1－Ⅱ	[2]		
	仏語1－Ⅰ	[2]	1～4	
	仏語1－Ⅱ	[2]		
	伊語1－Ⅰ	[2]	1～4	
	伊語1－Ⅱ	[2]		
情報機器の操作	情報機器の操作	2	2～4	

(1) 教員免許取得にかかわる介護等体験特例法

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、小学校及び中学校教諭の普通免許状の授与を受けるためには、以下のとおり介護等体験が義務づけられています。

ア 社会福祉施設等及び特別支援学校において合計7日間以上の介護等の体験を行う。

イ 介護等の体験は原則として在学期間中に行うものとし、事前に指導を受ける。

ウ 教員免許状の授与申請の際には介護等の体験を行った施設等において証明を受けた介護等の体験に関する証明書を提出する。

(2) 教育実習の参加要件等

4 年次に教育実習を行うには、次の要件を満たしていなければなりません。

これに反した場合は、実習校から教育実習の承諾が得られている場合でも教育実習には参加できません。その場合は、本人が直接実習校へ出向いて、教育実習を辞退する手続きとお詫びをしなければなりません。

- ① 3 年次終了までに「教職ピアノ実習 1 -Ⅰ ～5」の単位を修得していること。
- ② 3 年次終了までに「教科に関する専門的事項」を除く「教科及び教職に関する科目」のうち、1・2 年次に配当された科目を全て修得済みであること。
- ③ 3 年次終了までに「音楽科教育法Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得済みであること。
- ④ 教育実習に関するすべての手続きが終了していること。
- ⑤ 教育実習経費一部負担金(謝礼金)を納付済みであること。
- ⑥ 事前指導に相当するガイダンスや説明会にすべて出席していること。
- ⑦ 実習希望校の個別参加資格をクリアしていること。
- ⑧ 教育実習参加資格判定会議で参加資格を認められること。



授 業

(3) 教育職員免許状取得までの諸手続きについて

教育職員免許状を取得するためには、教職課程の履修申し込みから始まり、多くの手続きや提出書類が必要となります。次の表は学年ごとの手続き手順を示しています。

教職課程ガイダンス一覧 ～教育職員免許状取得までの流れ～

No	対象学年 (標準)	実施予定 時期	対象者		ガイダンス内容
			中一種	高一種	
①	1	4月	新規 履修 希望者	新規 履修 希望者	教職課程オリエンテーション「教員を目指す人の心構え」 ●教職課程履修登録方法・流れについて ●教員免許状取得までの4年間の流れ ●教職課程の履修届け出と履修費について ●教職ピアノ実習について
②		10～11月	○	○	教育実習の準備①・介護等体験(特別支援学校)に向けて ●教員免許状が求める教師像 ●介護等体験(特別支援学校)の準備 ●介護等体験の申込手続きと実施までの流れ
③	2	3～4月	○	○	教育実習の準備② ●音楽科教員としての基礎学力の充実に向けて ●介護等体験(特別支援学校)の申し込み・手続きについて ●教員採用試験について①(教員採用試験対策講座)
④		4～6月・9月	○		特別支援学校における介護等体験 ●介護等体験(特別支援学校)の内容 ●実施前諸注意 ●各種書類の説明
⑤		10～11月	○	○	教育実習の準備③と介護等体験(社会福祉施設)に向けて ●教育実習校事前調査 ●依頼方法や手続きの流れについて ●介護等体験(社会福祉施設)の準備 ●申込手続きと実施までの流れ
⑥	3	3～4月	○	○	教育実習の準備④ ●教育実習に向けたスキルアップ① ●正式な依頼と手続きについて ●介護等体験(社会福祉施設)の準備② ●教員採用試験について②(教員採用試験)
⑦		6～7月	○		社会福祉施設における介護等体験 ●介護等体験(社会福祉施設)の内容 ●実施前諸注意 ●各種書類の説明
⑧		10～11月	○	○	教育実習の準備⑤ ●教育実習に向けたスキルアップ② ●教育実習における心構え
⑨	4	3～4月	○	○	教育実習実施にあたって ●実施前諸注意 ●実習校宛提出書類の確認／謝礼金納付 ●教員採用試験に向けて(教員採用試験対策講座)
⑩		10月	○	○	教育実習の反省と今後の課題 ●教員免許状の取得について ●「授与等申請書」記載事項の確認、記入

「個人申請」

一括申請対象から外れた場合は、必要単位数を修得の上、本人が居住する各都道府県教育委員会に申請することになります。手続きの詳細は教育委員会へ問い合わせてください。

「教員採用試験」

各都道府県で実施日程・試験内容が異なります。各自で希望する教育委員会へ問い合わせてください。

V-1

授業に臨む態度

大学での授業は、講義、演習、実技レッスンなどの形式で行われ、教員と学生が直接触れ合う学問の場であり、大学生活の中心になるものです。

大学で学ぶものは、授業に積極的に出席して、学問上の真理と芸術上の美を探究し、自らの人格の向上に努めなければなりません。

V-2

授業期間

- (1) 年間の授業期間は、定期試験等の期間も含めて、35 週にわたることを原則としています。
- (2) 授業科目には、1 年間（30 週）をかけて修了する通年科目と半期（15 週）で修了する半期科目があります。半期科目については、原則として、前期・後期とも年度始めに履修登録をしておく必要があるので注意しましょう。

V-3

授業時間

- (1) 講義科目、演習科目など実技レッスン以外の授業時間は次のとおりです。

時 限	時 間
1 時限	9：00～10：30
2 時限	10：40～12：10
3 時限	13：00～14：30
4 時限	14：40～16：10
5 時限	16：20～17：50
6 時限	18：00～19：30

- (2) 実技レッスンの授業時間は、受講科目・担当教員により異なり、原則として、個人毎に担当教員と相談の上決定されます。実技レッスンの時間を変更したい場合は、担当教員と再度相談してください。担当教員がレッスン時間の変更が可能な場合、担当教員は学務部へ連絡して時間割変更を確認します。

V

4

休講・補講

以下の場合、授業は休講です。

- (1) 休講の掲示がある場合（教員のやむを得ない事情で授業が開講できなくなる場合
ですので、大学が休講の掲示をします。）
- (2) 休講の掲示や遅延の連絡がなく、授業開始時刻を 30 分経過した後も担当教員が
教室に現れない場合
- (3) 気象警報の発令、あるいは、ストライキや災害で交通機関が不通となったなどの
理由により臨時休講となる場合（詳しくは、ホームページを参照してください。）
なお、休講となった授業については、原則として、補講が行われますので、別
途掲示に注意してください。

V

5

災害発生時・公共交通機関運休時等による臨時休講

下記のいずれかの場合に、授業を臨時休講とします。

- (1) 神奈川県又は東京都に特別警報が発令された場合
 - ①午前 6 時 30 分の時点で警報が解除されていない場合には、午前の授業を休講
とします。
 - ②午前 10 時の時点で警報が解除されていない場合には、第 3 限の授業を休講と
します。
 - ③正午の時点で警報が解除されていない場合には、第 4 限以降の授業を休講とし
ます。
- (2) 神奈川県東部（横浜・川崎地域）に、暴風警報・大雪警報・暴風雪警報の内、い
ずれか一つの気象警報が発令された場合
 - ①午前 6 時 30 分の時点で警報が解除されていない場合には、午前の授業を休講
とします。
 - ②午前 10 時の時点で警報が解除されていない場合には、第 3 限の授業を休講と
します。
 - ③正午の時点で警報が解除されていない場合には、第 4 限以降の授業を休講とし
ます。
- (3) 公共交通機関が運休となった場合
JR 南武線、東急田園都市線の両方が全面不通となった場合。
 - ①午前 6 時 30 分の時点で運転が再開されていない場合には、午前の授業を休講
とします。
 - ②午前 10 時の時点で運転が再開されていない場合には、第 3 限の授業を休講と
します。
 - ③正午の時点で運転が再開されていない場合には、第 4 限以降の授業を休講とし
ます。
尚、事故・故障などによる一時的な交通機関の停止・遅延は臨時休講の対象と
はなりません。
- (4) 授業中に上記の事態が発生した場合は、学長の判断で措置を決定し、SENZOKU
ポータル掲示（大学 HP への掲載を含む）等を以って速やかに通知しますので
これに従ってください。

V

6

出席・欠席

(1) 出席調査の実施

本学では下記の方式にて出席調査を実施しています。

- ①講義・合奏系の授業：各教室に配置された IC カードリーダーに学生が学生証
をかざす。
- ②個人レッスン・室内楽研究：担当教員がポータル上の出欠管理より出欠を登録
する。

(2) 出席状況の確認

学生及び保証人が出席状況を確認したい時は、ポータル上から閲覧することができ
ます。

(3) 授業の欠席

授業を欠席すると、定期試験の受験資格を失ったり、平常点が悪くなったりします。
従って、病気や怪我などやむを得ない事情で授業を欠席した場合は、ポータルのクラ
スプロファイルを利用するなどして無断欠席でないことを個別に担当教員に伝えてお
くことが大切です。

①～③の「欠席届」は、所定の用紙が備え付けてありますので、必要事項を記入し
て学務部に提出してください。学務で受付印（割印）を受け、割印済みの欠席届を担
当教員に直接提出してください。

(4) 公欠

公欠とは、以下に定める特別な事由により本学が認めた公の授業欠席をいいます。
当該公欠の授業時数（回数）は、当該科目の総授業時数に参入いたしません。

① 忌引

10 日以内に、亡くなられたことを確認できる書類（会葬案内・礼状）とともに
「忌引専用欠席届」を提出する必要があります。家族葬等で会葬礼状を作成し
ない場合は、学務部（教務）にご相談ください。ポータルの出欠状況確認には
「公欠」と表示されます。

- 1 親等（父・母 等）……………連続 5 日間
- 2 親等（祖父母・兄弟姉妹 等）……………連続 3 日間
- 3 親等（曾祖父母・伯叔父母 等）……………1 日間

② 学校感染症による出席停止

出席が可能になってから速やかに大学指定の「学校感染症治癒証明書（登校許可書）」とともに「学校感染症専用欠席届」を提出する必要があります。ポータルの出欠状況確認には「公欠」と表示されます。

[学校感染症と出席停止期間]

学校感染症とは、学校内で集団感染しやすく、特に感染拡大を予防することが必要とされる感染症です。

	病 名	出 席 停 止 期 間
第 1 種	エボラ出血熱、南米出血熱、ペスト、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、マールブルグ病、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、特定鳥インフルエンザ（旧鳥インフルエンザ H5N1 型）	治癒するまで *左記以外に、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第6条第7項から第9項までに規定する「新型インフルエンザ等感染症」、「指定感染症」及び「新感染症」は、第1種の感染症とみなす。
第 2 種	季節性インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗生物質による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺、又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹（3日ばしか）	発疹が消失するまで
	水痘（水ぼうそう）	全ての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状消退後2日を経過するまで
	結核および髄膜炎菌性髄膜炎	伝染のおそれなくなるまで
第 3 種	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、腸管出血性大腸菌感染症、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 *その他の感染症	病状により医師によって伝染のおそれないと認められるまで

*その他の感染症の例として、溶連菌感染症 伝染性紅斑（りんご病） ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症 手足口病 流行性嘔吐下痢症（ノロウィルスなどの感染性胃腸炎）が挙げられます。

③ 就職活動（選考に関わるもの）、教育実習、介護等体験による欠席

就職活動（選考に関わるもの）、教育実習、介護等体験による欠席については、やむを得ない事由によるものであることを担当教員に伝えることが必要ですのでそれぞれ専用の「欠席届」を提出してください。ポータルの出欠状況確認には「公欠」と表示されます。

VI

試 験

試験は、学習の効果を評価し、単位を認定するための一つの方法です。試験の種類や方法については以下のとおりですが、試験日程等はポータルで発表されますので、しっかり確認してください。

VI-1

試験の種類

試験の種類は次のとおりです。

- (1) 定期試験
- (2) 追試験
- (3) 再試験

VI-2

受験資格

原則として、以下の条件に該当する場合は、試験を受けることはできません。

- (1) 定められた授業料等の学納金が未納である場合
- (2) 履修登録が実施されていない場合
- (3) 授業への出席状況により担当教員が受験資格なしと判断した場合

VI-3

定期試験

- (1) 定期試験には①前期末試験（7月下旬～8月上旬）、および②学年末試験（1月中旬～2月中旬）があります。授業科目によっては、上記期間外に実施されることがあります。詳細は当該年度のシラバスで確認してください。
- (2) 定期試験としては、筆記試験、レポート提出、実技試験等を行います。

VI-4

追試験

病気やその他のやむを得ない事情で定期試験を受けられなかった学生については、その理由を判断して、追試験の受験を許可することがあります。なお、追試験の成績は定期試験の成績の 80%評価（但し、忌引・学校感染症による欠席の場合は 100%評価）となります。追試験には、所定の手続きによる申請が必要です。

VI-5

再試験

定期試験に不合格となった学生が願い出て認められた場合、再試験の受験を許可することがあります。全ての再試験の対象科目成績は「D」（不合格）のみ。科目成績が「E」（試験欠席）・「F」（履修放棄）の場合、再試験は認められません。ただし、再試験の成績は定期試験の成績の 80%評価となります。再試験には、所定の手続きによる申請が必要です。

VII

成績

VII-1

成績の評価基準

1. S 評価と A 評価を与える学生の割合は次のとおりとします。
(1) 履修登録者数に対して合計 28%を上限とします。
(2) S 評価を与える学生の割合は成績最上位から 3%を上限とします。
但し、シラバスに絶対的な基準が明示されている場合はその基準による評価となります。
2. 授業科目の担当教員が、①定期試験等の成績、②平常の授業態度（小テストの成績やレポート提出等を含む）、③授業への参加姿勢を総合して評価します。
3. 授業の欠席が、原則として、3 分の 1 を超える者については、定期試験の受験資格を失います。
4. 成績評価は、S・A・B・C・D の 5 種類で行い、S・A・B・C のいずれかの評価は合格として所定の単位が与えられ、D の評価は不合格として単位は与えられません。また、定期試験等を欠席した者には E、授業出席日数不足等で受験資格を失った者は F と表記し、いずれも単位は与えられません。

評価	評価の定義及びガイドライン
S	極めて優秀な者
A	特に優れている者
B	優れている者
C	合格ラインに達している者
D	合格ラインに達していない者
E	授業科目の最終（定期）試験を欠席した者
F	授業への出席日数が少ないなどの理由で、最終（定期）試験の受験資格を得られない者

VII

成

績

VI-6

筆記試験受験上の注意

- (1) 試験中は担当教員または試験監督者の指示に従わなければなりません。
- (2) 原則として、試験開始から 20 分経過後は試験場への入場はできません。
- (3) 原則として、試験開始から 30 分間は試験場から退場できません。
- (4) 学籍番号、氏名が記されていない試験答案は無効となります。
- (5) 試験監督者から指示された場合、学生証を呈示しなければなりません。
- (6) 試験会場には予め許された資料等以外は持ち込むことはできません。
- (7) 試験中に不正行為を行った者については、直ちに試験会場から退場させられ、その定期期間中の以後の試験を受けることはできません。また、不正行為があった授業科目の試験は零点とします。

VI-7

レポート・論文提出上の注意

- (1) 定期試験としてレポート・論文の提出が指示された場合、学生はレポート・論文を作成し、所定の手続きに則って、指定された日時までに担当教員へ提出しなければなりません。
- (2) 指定された日時を過ぎたレポート・論文は受理できませんので、必ず期限を守らなければなりません。

VI-8

実技試験受験上の注意

- (1) 実技試験の課題曲等については、ポータルを参照してください。また、日程・試験会場等は別に掲示されます。
- (2) 服装は、シラバスに指示がある場合は指示に従い、無い場合は学生の判断に任せますが、ジーパン、ミニスカートなどの服装は避け、実技試験にふさわしい服装で臨まなければなりません。
- (3) 教職ピアノ実技試験については原則教育実習時と同様の服装でなければなりません。
その他詳細は別途掲示の実施要項で確認してください。

VI-9

災害発生時および交通ストライキ時の取扱

臨時休講に該当する事態が発生して登校できない場合、その間の試験は中止となり、改めて試験が実施されます。この試験日程等については別に掲示されます。

VI

試

験

VII-2 GPA

(1) GPA とは、各科目の成績の平均値（Grade Point Average）のことで、履修科目の単位数にグレードポイント（Grade Point）を乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除したものです。小数点第 3 位以下は切り捨てます。成績評価のグレードポイントは、《S=4、A=3、B=2、C=1、D=0、E=0、F=0》となります。

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修科目の単位数} \times \text{科目のグレードポイント）の合計}}{\text{履修登録単位数の合計}}$$

(2) 本学では、履修指導のほか、成績優秀者や奨学生の決定の際に基礎データとしても利用されます。

(3) 「教科に関する専門的事項」を除く「教科及び教職に関する科目」、「他大学（単位互換大学等を含む）で修得した授業科目」、「教免認定科目（M）」、「認定科目（N）」、放送大学科目、自由科目は GPA の計算には含めません。

VII-3 成績の確認

成績については、学期末の成績確定後にポータル上から閲覧することができます。

VII-4 成績問合せ

通知された成績評価の適切性について確認したい場合は、成績評価照会（評価問合せ）を申請することができます。ただし、これは担当教員に対して、安易に成績の再考・変更を求めることを認める制度ではありません。試験、出席状況、課題提出等がシラバスに記載の成績評価基準を充足しており、客観的かつ合理的な理由を提示できる場合のみ照会できます。この場合、所定の手続きによる申請が必要です。受付期間、申請方法はポータルでお知らせします。なお、電話やメールでの問合せ、期間外の問合せには一切応じません。

【評価問合せの注意事項】

次のような理由による成績評価照会（評価問合せ）は、受け付けられません。

- シラバスの成績評価の基準に照らしていないもの
例：レポートを提出したのに、なぜ D 評価か。
例：試験で手応えがあったのになぜ C 評価か。
- 他の履修者との比較のみに基づくもの
例：友人は A 評価なのに、なぜ私は B 評価か。
- 他のクラスとの比較のみに基づくもの
例：同じ科目でも、〇〇先生のクラスは甘いのに、△△先生のクラスが厳しいのはおかしい。
- 評価の理由のみ問合せるもの
例：試験の点数が知りたい、解説をしてほしい。
- 出席状況について具体的な説明がないもの
例：C 評価になるほど、欠席していないと思う。
- 担当教員に情状を求めるもの
例：この科目を落とすと留年なのでなんとかしてほしい。
例：一生懸命取り組んだのだから C 評価はおかしい。

〔 学 科 コ ー ド 表 〕

コード	学 科 名	略 称
1	洗足学園音楽大学音楽学部	音 楽 学 部
2	洗足学園音楽大学大学院	大 学 院
3	洗足学園音楽大学音楽専攻科	音 楽 専 攻 科

〔 コースコード・楽器コード 一覧表 〕

コース名	楽器名	コースコード	楽器コード
作曲		CO	
音楽・音響デザイン		SC	
ピアノ	ピアノ	PF	PF
管 楽 器	フルート	WI	FL
	オーボエ		OB
	クラリネット		CL
	ファゴット		FG
	サクソフォーン		SX
	ホルン		HR
	トランペット		TP
	ユーフォニアム		EP
	トロンボーン		TB
	チューバ		TU
弦 楽 器	ヴァイオリン	SI	VN
	ヴィオラ		VA
	チェロ		VC
	コントラバス		CB
	ハープ		HP
打 楽 器		PI	PI
電子オルガン	電子オルガン	EO	EO
ジ ャ ズ	フルート	JZ	FL
	クラリネット		CL
	サクソフォーン		SX
	トランペット		TP
	トロンボーン		TB
	ギター		GT
	ピアノ		PF
	ベース		BS
	ドラム		DS
	パーカッション		PI
	ヴォーカル		VO
	その他		OT
	箏	GH	KO
現 代 邦 楽	三味線		SA
	尺八		BF
	打楽器		JD

(次ページに続く)

〔 コースコード・楽器コード 一覧表 〕 続き

コース名	楽器名	コースコード	楽器コード
ロック&ポップス	ヴォーカル	RP	VO
	ギター		GT
	ベース		BS
	ドラム		DS
	パーカッション		PI
	キーボード		KB
	シンガーソングライター		SW
	ロック&ポップスその他		RO
声 楽		VO	VO
ミュージカル		MS	MS
バレエ		BL	
声優アニメソング		AS	
ダンス		DC	
ワールドミュージック		WM	
音楽教育		ME	
音楽環境創造		SS	



資料



資料1：建学の精神

『理想高遠 実行卑近』

若き学徒をして、真の人生の目的に目覚めさせ、さらに人間の天職を悟らせ、謙虚にして慈愛に充ちた心情（謙愛の徳）を養い、気品高く、かつ実行力に富む有為な人物を育成する。

創立者、故前田若尾先生の念願を体し、建学の理想に基づき、教育基本法の精神にのっとり、特に次の諸点に留意して学生の人格を陶冶する。

1. 心身の健康増進につとめる
2. 穏健中正な人生観をもつ確固たる信念の樹立
3. 敬愛、自主の精神の確立
4. 豊かな情操、適正な判断力の涵養
5. 質素、勤労愛好、進んで奉仕する主体的行動の育成
6. 「理想は高遠に、実行は卑近に」の実践標語の体得につとめる



資料2：卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)

大 学
本学は所定の在学年数を満たし、本学が定める教育目標及び教育課程に沿って必要な学修成果を修め、その証として、所定の単位を修得し卒業した者を、建学の精神を体現し、十分な専門的知識や技能及び汎用的能力を身に付けた人間性豊かな人材と認め、学士（音楽）の学位を授与する。

音楽学部
(1) 自らの専門分野に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。（専門性、専門実技） (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。（多様性の尊重） (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。（協働する力） (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。（社会貢献・実践的態度） (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。（論理的思考力・問題解決力）

作曲コース
(1) 自らの専門分野である作曲に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 ・バロックや古典をはじめ、近代・現代の作曲法に精通し、その伝統を継承するとともに、独自の作品を生み出すことができる。 ・楽器法やオーケストレーションを修得し、さまざまな編成での作曲や編曲において、楽譜を制作することができる。 ・ジャズや民族音楽など幅広いジャンルに興味を持ち、社会において訴求力のある作品を提供することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

音楽・音響デザインコース
(1) 自らの専門分野である音楽制作に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 ・音楽理論や専門知識を体系的に理解し、創作において適切に活用することができる。 ・コンピューター・リテラシーを身に付け、制作に必要な編集ができる。 ・音響処理技術を修得し、独創性のある音楽を構成することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

ピアノコース
(1) 自らの専門分野であるピアノに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 ・音楽の歴史について体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。 ・ピアノ奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。 ・専門的で多角的な音楽理論の知識を身に付け、活用することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

管楽器コース
(1) 自らの専門分野である管楽器に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 管楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。 • 管楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。 • アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
(3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
(4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
(5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

弦楽器コース
(1) 自らの専門分野である弦楽器に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 弦楽器の歴史を体系的に理解し、様式に沿った演奏ができる。 • 弦楽器奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現ができる。 • アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
(3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
(4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
(5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

打楽器コース
(1) 自らの専門分野である打楽器に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 各種打楽器の基礎的な奏法、そこから発展する技術を修得し、打楽器を通して音楽表現ができる。 • 音楽の歴史、音楽理論などの専門的な知識を修得している。 • 独奏、アンサンブルやオーケストラなどの演奏形態に適切に対応できる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
(3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
(4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
(5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

電子オルガンコース
(1) 自らの専門分野である電子オルガンに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 編曲や創作を行い、自ら演奏ができる。 • 様々なジャンルを理解し、様式に沿った演奏ができる。 • アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
(3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
(4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
(5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

ジャズコース
(1) 自らの専門分野であるジャズに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 演奏技術を修得し、自由度を持った即興演奏ができる。 • 創造的なアイデアを含む音楽をつくることができる。 • 演奏の場において、刻々と変化する音楽の流れに柔軟に対応することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
(3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
(4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
(5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

現代邦楽コース
(1) 自らの専門分野である邦楽及び邦楽器に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 古典、現代邦楽、現代作品など、広範な様式に関心を持ち、それぞれに相応しい演奏表現を修得している。 • 独奏の技術と音楽性を高めると共に、アンサンブルにおいて、協調性を発揮することができる。 • 日本の文化における邦楽及び邦楽器の存在意義を認識し、その魅力を国内はもとより世界に発信する気概を身に付けている。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。
(3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。
(4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。
(5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

ロック&ポップスコース
(1) 自らの専門分野であるロック&ポップスに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 多種多様な音楽に触れ、幅広い音楽観を身に付けている。 • アンサンブルにおいて、個性を尊重しつつ、協調性を発揮することができる。 • 現在進行形の音楽産業に対して、常に新しい発想を持って柔軟に対応できる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
声楽コース
(1) 自らの専門分野である声楽に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 全身を楽器として響かせる西洋クラシック音楽の発声法で、作品に対する思いを自在に表現する技術を修得している。 • オペラ、歌曲、宗教曲について、歴史的背景に関する知識を有し、時代・地域・言語の違いによるそれぞれの表現法を修得している。 • 西洋クラシック音楽の基本の発声法や知識を元に、それ以外のジャンルの音楽や朗読など、声を使う様々な場に対応することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
ミュージカルコース
(1) 自らの専門分野であるミュージカルに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 多種多様なジャンルのミュージカル作品を深く理解し演じることができる。 • ベルティング唱法、ベルカント唱法を修得することにより、多岐にわたる舞台で自己表現ができる。 • ダンス能力を向上させることにより、様々なダンスシーンに対して順応することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

バレエコース
(1) 自らの専門分野であるバレエに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • バレエの伝統を踏まえて、古典から現代まで様式に沿った表現ができる。 • 音楽を身体で芸術的に表現するために、舞踊家として個性や協調性を発揮することができる。 • あらゆる踊りの基礎となるバレエの技術や知識をもとに、様々な作品の振付に幅広く対応することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
声優アニメソングコース
(1) 自らの専門分野である声優アニメソングに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 作品の背景を理解し、役柄の個性を表現することができる。 • 音楽的知識や発声の基礎技術を高め、広く社会へ貢献することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
ダンスコース
(1) 自らの専門分野であるダンスに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 多岐にわたるダンスの分野に触れることで、様々なジャンルに対応できるスキルを身に付け、表現することができる。 • ダンス構成や創作過程を学び、振付家（コレオグラファー）としても幅広く活動することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

ワールドミュージックコース
(1) 自らの専門分野の専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • 奏者としての演奏技術を身に付け、自己表現することができる。 • 各自の専門領域の音楽理論を理解し、演奏、作曲、即興に活用できる。 • 世界のさまざまな音楽文化を理解し、共演者と協調しあいながらアンサンブルができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
音楽教育コース
(1) 自らの専門分野である音楽教育に関する専門的知識や技能を用いて、自らの発想や思考を適切に表現し、他者に伝えることができる。 • 学習目標が明確な、わかりやすい音楽指導を行うことができる。 • 能動的学修に導くための創意工夫に富んだ教材を作成することができる。 • 文化振興、教育に根付く音楽の企画立案と運営を行うことができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。
音楽環境創造コース
(1) 自らの専門分野である音楽環境創造に関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現することができる。 • プロフェッショナルな舞台人として活躍するために必要なコミュニケーション力、礼儀作法、社会性を身に付け、独創性のある舞台芸術を制作することができる。 • 舞台芸術は、プレーヤーとスタッフの共同作業によって成り立っていることを理解し、専門分野における最先端のテクノロジーを駆使して、作品発表において自己表現することができる。 (2) 社会への開かれた関心と態度を身に付け、その多様性を理解し、共感することができる。 (3) 自らとは異なる意見・価値観・感性・文化を持つ他者と協働することができる。 (4) 自らの専門分野である音楽を通して、社会に貢献しようとする実践的態度を身に付けている。 (5) 論理的思考力に基づき、自ら問題を発見し解決することができる。

Ⅸ-2 資料3：教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)
大 学
【教育課程編成の方針】 (1) 教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。 (2) 教育課程の編成に当たっては、深く専門の学芸を教授し、その応用的能力を展開させるとともに、幅広く深い教養及び実行力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮する。 【教育課程実施の方針】 (3) 「卒業認定・学位授与の方針」に定めた、卒業時までには修得すべき知識・技能等が、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかについて、学生が理解しやすいように配慮する。 (4) 学生の主体的で活発な学修意欲を促進する立場から、社会的実践の機会を積極的に設定する。 (5) 成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の主題・到達目標に向けた到達度をめやすとして採点し、評価の客観性を担保するため、総合的・多面的な成績評価を実施する。
音楽学部
音楽学部教育課程は、少人数・双方向型の実践的な教育を基本とし、「専門必修科目」「専門選択科目（各コース）」「専門選択科目（全コース共通）」「一般総合科目」を通じて「卒業認定・学位授与の方針」に定める力を身に付けることができるように編成し実施する。 【教育内容】 (1) 「専門必修科目」では、コースの専門分野に関する最も根本的な知識や技能を身に付ける。個人レッスンまたは少人数による学びを中心とし、学年制をとる。 (2) 「専門選択科目（各コース）」では、コースの専門分野に関する応用的な知識や技能を身に付ける。グループによる学びを中心とする。 (3) 「専門選択科目（全コース共通）」では、コースの枠を超えた横断的・多元的な学びにより音楽的素養を身に付け、その音楽的幅を広げる。 (4) 「一般総合科目」では、豊かな人間性と実行力を備え自立した社会人として求められる汎用的能力を身に付ける。 【教育方法】 (5) 主体的な学びを保証するためのきめ細かな履修指導を行う。 (6) すべての授業科目において授業と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確化し、単位の実質化を図る。 (7) 学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身に付けさせるため、年間履修登録単位数の上限を定める。

- (8) 卒業時までには修得すべき知識・技能等が、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、カリキュラムマップで「卒業認定・学位授与の方針」で定められた知識・技能等との対応と、それら諸知識・技能等を修得する方法が理解しやすいように配慮する。
- (9) カリキュラムツリー・学修ポートフォリオの導入により、学生が自らカリキュラムを選択し、目標を立てて達成度を確認できるようにする。
- (10) アクティブラーニングを取り入れた教育方法を取り入れることを基本とする。

【評価】

- (11) GPA 制度に基づく厳格な成績評価を導入することにより、学びの質を向上させる。
- (12) 実技試験においては複数の採点委員により公正な評価を行う。
- (13) 専門実技については、様々な形態による公開の成果発表の機会を設け、実践的な体験を通じて学修成果の向上を図る。